

令和6年度
教育計画



行田市立西中学校

教科経営案

(国語)科

教科担任	(1年)……須藤 岳(書写主任) (2年)……島田 純子(国語主任) (3年)……田沼 智也(書写主任)	※()内は授業担当学年
生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に真面目に取り組む生徒が多い。 ・ 自分の考えをまとめて書いたり話したりする力がやや不足している。 ・ 漢字の読み書きについては、充分満足できる生徒とかなり不足している生徒の差が大きい。 ・ 文学作品の心情を読み取る力がやや不足している。 	
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのような言語能力を身に付けさせるかを明確にした指導。 ・ 「言語活動」を重視した上での、「考える」活動、「書く」活動と「発表」との関連づけ。 ・ 系統性を明らかにした指導と3観点による評価の計画作成・活用・検証。 ・ 「主体的・対話的な深い学び」に関わる学習過程の明確化。 	
具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究主題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 基礎的な言語能力の定着をはかる指導法と評価の工夫 </div> ※継続 ・ 「漢字」を中心に据えた基礎学力向上と「研究主題」の達成に向けて、特に次の三点を各単元の授業に組み込んでいく。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「話すこと」についての学習と、「聞くこと」についての学習を関連する形で実施し、相互評価を行いながら、的確に表現することへの関心を高める。 (2) 「考える」活動と「発表」の間に「書く」活動を置くことによって、わかりやすく正確に表現しようとする意識を高める。 (3) 「漢字」や文章中での語句の「意味」を中心とした基礎的・基本的な内容を定着させ、語彙を豊富にすることによって、正確に理解する能力を高める。 	

年間の評価規準	年	評価の観点	評価規準
	1年	知識及び技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにしている。
		思考力、判断力、表現力等	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにしている。
		学びに向かう力、人間性等	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養っている。
2年	知識及び技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにしている。	
	思考力、判断力、表現力等	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養っている。	
3年	知識及び技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	
	思考力、判断力、表現力等	論理的に考える力や深く共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	
	学びに向かう力、人間性等	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養っている。	

国語科 (中学1年)

週数	領 域		小中一貫教育の視点 (○話す聞く・●書く)	
	話すこと・聞くこと	書くこと	▽これまで (小6)	△これから (2年)
4月	・声を届ける	・書き留める/言葉を調べる	○つないで、つないで、一つのお話	
5月	・[聞く] 情報を的確に聞き取る	・情報を整理して書こう	○聞いて考えを深めよう	○[聞く] 問いを立てながら聞く ●多様な方法で情報を集めよう
6月	・話の構成を工夫しよう			○魅力的な提案をしよう
7月		・詩を作ろう	●秋探し	
9月	・聞き上手になろう (質問で話を引き出す)	・項目を立てて書こう ・[推敲] 読み手の立場に立つ		○聞き上手になろう ●表現を工夫して書こう ●[推敲] 表現の効果を考える
10月	・[話し合い] 話し合いの展開を考える	・根拠を示して説明しよう	○いちばん大事なものは ●たのしみは	○[討論] 異なる立場から考える ●根拠の適切さを考えて書こう
11月	・話題や展開を捉えて話し合おう	・故事成語を使って体験文を書こう	○みんなで楽しく過ごすために ●日本文化を発信しよう	○立場を尊重して話し合おう ●人物の特徴を捉えて論じよう
12月		・根拠を明確にして、意見をまとめよう ・名言を自分の文章に生かそう	●わたしたちにできること ●大切にしたい言葉	●魅力を効果的に伝えよう
1月		・別の人物の視点から文章を書き換えよう		●作品の魅力をまとめ、語り合おう
2月		・構成や描写を工夫して書こう	●人を引き付ける表現	○国語の学びを振り返ろう ●構成や展開を工夫して書こう ●テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る
3月	・一年間の学びを振り返ろう	・要点をフリップにまとめ、発表する	○今、私は、ぼくは ●思い出を言葉に	

国語科 (中学1年)

週数	領 域		小中一貫教育の視点 (○読む・●知識・理解)	
	読むこと	知識・理解	▽これまで (小6)	△これから (2年)
4月	[詩] 朝のリレー [詩] 野原はうたう		○ [詩] 春の河	○ [詩] 見えないだけ
5月	[物語] シンシュン	・比較・分類	○ [物語] 帰り道 ●主張と事例	○ [小説] アイスプラネット ●思考の視覚化
6月	[説明] ダイコンは大きな根 [説明] ちょっと立ち止まって	・意見と根拠 ・情報を集めよう ・情報を読み取ろう ・情報を引用しよう	○ [説明] 時計の時間と心の時間 ●情報と情報をつなげて伝えるとき	○ [報告] クマゼミ増加の原因を探る ●具体と抽象 ●メディアを比べよう ●メディアの特徴を生かして情報を集めよう
7月	[詩] 詩の世界 [説明] 比喻で広がる言葉の世界		○ [詩] せんねんまんねん ○ [説明] 利用案内を読もう	○ [短歌] 短歌に親しむ・短歌を味わう ○ [随筆] 言葉の力
9月	[物語] 大人になれなかった大人たちに… [小説] 星の花が降るころに		○ [物語] やまなし	○ [小説] 盆土産
10月	[記録] 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	・原因と結果	○ [説明] 『鳥獣戯画』を読む ●言葉の変化	○ [論説] モアイは語る ●根拠の吟味
11月	[詩] 音読を楽しもう 大阿蘇 [古典] いろは歌・古典の世界・蓬萊の玉の枝・今に生きる言葉		○ [詩] 詩の楽しみ方を見つけよう ○ [古典] 柿山伏 ●古典芸能の世界	○ [詩] 音読を楽しもう 月夜の浜辺 ○ [古典] 源氏と平氏・扇の的・仁和寺にある法師・漢詩の風景・枕草子
12月	[意見] 「不便」の価値を見つめ直す		○ [説明] メデジアと人間社会	○ [評論] 君は「最後の晩餐」を知っているか
1月	[小説] 少年の日の思い出 [随筆] 随筆二編		○ [物語] 海の命	○ [小説] 走れメロス ○ [随筆] 字のない葉書
2月				
3月	[詩] さくらの はなびら		○ [詩] 生きる	○ [詩] 木

国語科 (中学2年)

週数	領 域		小中一貫教育の視点 (○話す聞く・●書く)	
	話すこと・聞くこと	書くこと	▽これまで (1年)	△これから (3年)
4月	・[聞く] 問いを立てながら聞く		○ [聞く] 情報を的確に聞き取る	○ [聞く] 評価しながら聞く
5月		・多様な方法で情報を集めよう	● 情報を整理して書こう	● 文章の種類を選んで書こう
6月	・魅力的な提案をしよう		○ 話の構成を工夫しよう	○ 説得力のある構成を考えよう
7月				
9月	・聞き上手になろう (質問で思いや考えを引き出す)	・表現を工夫して書こう ・[推敲] 表現の効果を考える	○ 聞き上手になろう (質問で話を引き出す) ● 項目を立てて書こう ● [推敲] 読み手の立場に立つ	○ 聞き上手になろう (質問で相手の思いに迫る) ● [推敲] 論理の展開を整える
10月	・[討論] 異なる立場から考える	・根拠の適切さを考えて書こう	○ [話し合い] 話し合いの展開を考える ● 根拠を示して説明しよう	○ [議論] 話し合いを効果的に進める ● 多角的に分析して書こう
11月	・立場を尊重して話し合おう	・人物の特徴を捉えて論じよう	○ 話題や展開を捉えて話し合おう ● 故事成語を使って体験文を書こう	○ 合意形成に向けて話し合おう
12月		・魅力を効果的に伝えよう	● 助言を自分の分掌に生かそう	● 情報を読み取って文章を書こう
1月		・作品の魅力をまとめ、語り合おう	● 別の人物の視点から文章を書き換えよう	● 古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう
2月	・国語の学びを振り返ろう	・構成や展開を工夫して書こう ・テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る	○ 一年間の学びを振り返ろう ● 要点をフリップにまとめ、発表する	○ 三年間の歩みを振り返ろう ● 冊子にまとめて、発表会をする
3月				

小中一貫教育カリキュラム 年間指導計画単元一覧表
 国語科 (中学2年)

週数	領域		小中一貫教育の視点 (○読む・●知識)	
	読むこと	知識・理解	▽これまで (1年)	△これから (3年)
4月	[詩] 見えないだけ [小説] アイスプラネット		○ [詩] 朝のリレー ○ [詩] 野原はうたう ○ [物語] シンシュン	○ [詩] 世界はうつくしいと ○ [小説] 握手
5月	[古典] 枕草子 [報告] クマゼミ増加の原因を探る	・思考の視覚化	○ [説明] 大根は大きな根 ○ [説明] ちょっと立ち止まって ●比較・分類	○ [古典] 学びて時に之を習ふー「論語から」 ○ [論説] 作られた「物語」を超えて ●情報の信頼性
6月		・具体と抽象 ・メディアを比べよう ・メディアの特徴を生かして情報を集めよう	●意見と根拠 ●情報を集めよう ●情報を読み取ろう ●情報を引用しよう	●実用的な文章を読もう ●報道文を比較して読もう
7月	[短歌] 短歌に親しむ・短歌を味わう [随筆] 言葉の力		○ [詩] 詩の世界 ○ [説明] 比喩で広がる言葉の世界	○ [詩] 音読を楽しもう 挨拶 ○ [俳句] 俳句の可能性・俳句を味わう
9月	[小説] 盆土産 [随筆] 字のない葉書		○ [小説] 星の花が降るころに ○ [随筆] 随筆二編	○ [小説] 故郷 ○ [随筆] 温かいスープ
10月	[論説] モアイは語る	・根拠の吟味	○ [記録] 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ●原因と結果	○ [論説] 人工知能との未来 ○ [論説] 人間と人工知能と創造性
11月	[詩] 音読を楽しもう 月夜の浜辺 [古典] 源氏と平氏・扇の的・仁和寺にある法師・漢詩の風景		○ [詩] 音読を楽しもう 大阿蘇 ○ [古典] いろは歌・古典の世界・蓬萊の玉の枝・今に生きる言葉	[詩] 初恋 [古典] 君待つと・夏草
12月	[評論] 君は「最後の晩餐」を知っているか		○ [意見] 「不便」の価値を見つめ直す	[論説] 誰かの代わりに
1月	[小説] 走れメロス		○ [小説] 少年の日の思い出	
2月				
3月	[詩] 木		○ [詩] さくらの はなびら	[詩] わたしを来ねないで

国語科 (中学3年)

週数	領 域		小中一貫教育の視点 (○話す聞く・●書く)	
	話すこと・聞くこと	書くこと	▽これまで (2年)	△これから
4月	[聞く] 評価しながら聞く		○ [聞く] 問いを立てながら聞く	
5月		・文章の種類を選んで書こう	●多様な方法で情報を集めよう	
6月	・説得力のある構成を考えよう ・リオの伝説のスピーチ		○魅力的な提案をしよう	
7月				
9月	・聞き上手になろう (質問で相手の思いに迫る)	・[推敲] 論理の展開を整える	○聞き上手になろう (質問で思いや考えを引き出す) ●表現を工夫して書こう ●[推敲] 表現の効果を考える	
10月	・[議論] 話し合いを効果的に進める	・多角的に分析して書こう	○[討論] 異なる立場から考える ●根拠の適切さを考えて書こう	
11月	・合意形成に向けて話し合おう		○立場を尊重して話し合おう	
12月		・情報を読み取って文章を書こう	●構成や展開を工夫して書こう	
1月		・古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう	●作品の魅力をまとめ、語り合おう	
2月	・三年間の歩みを振り返ろう	・冊子にまとめて、発表会をする	○国語の学びを振り返ろう ●テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る	
3月				

小中一貫教育カリキュラム 年間指導計画単元一覧表
 国語科 (中学3年)

週数	領域		小中一貫教育の視点 (○読む・●知識)	
	読むこと	知識・理解	▽これまで (2年)	△これから
4月	[詩] 世界はうつくしいと [小説] 握手		○ [詩] 見えないだけ ○ [小説] アイスプラネット	
5月	[古典] 学びて時に之を習ふー 「論語から」	・情報の信頼性	○ [古典] 枕草子 ● 思考の視覚化	
6月	[論説] 作られた「物語」を 超えて	・実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	○ [報告] クマゼミ増加の原因 を探る ● 具体と抽象 ● メディアを比べよう ● メディアの特徴を生かして 情報を集めよう	
7月	[俳句] 俳句の可能性・俳句 を味わう		○ [短歌] 短歌に親しむ・短 歌を味わう ○ [随筆] 言葉の力	
9月	[詩] 挨拶 [小説] 故郷		○ [小説] 盆土産 ○ [小説] 走れメロス	
10月	[論説] 人工知能との未来 [論説] 人間と人工知能と 創造性		○ [論説] モアイは語る	
11月	[詩] 初恋 [古典] 君待つと・夏草		○ [詩] 音読を楽しもう 月夜の浜辺 ○ [古典] 源氏と平氏・扇の 的・仁和寺にある法師・漢 詩の風景	
12月	[論説] 誰かの代わりに		○ [評論] 君は「最後の晩餐」 を知っているか	
1月	[随筆] 温かいスープ		○ [随筆] 字のない葉書	
2月				
3月	[詩] わたしを束ねないで		○ [詩] 木	

教科経営案

数学科

<p>教科担任</p>	<p>主任教諭 富田 奈菜 部員名 筑肱 敏之 本澤 宏介 岩瀬 駿也</p>
<p>生徒の実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数学ができるようになりたいと思っている生徒が多い。 ・計算問題では、多くの生徒が意欲的に取り組むが、思考力を必要とする課題に対しては最後まで粘り強く取り組もうとする態度に欠ける。 ・道筋立てて、論理的に説明する力が不足している。 ・小学校算数科の内容を理解できていない生徒が見られる。 ・積極的に周りに教えようとする姿勢が多く見られる。
<p>指導の重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と向上 ・問題解決能力の育成 ・生徒の発表力を育て、多様な見方・考え方を活かす指導の工夫 ・数学的な活動の充実 ・数学的に考える資質・能力の育成 ・結論に至る過程を大切にす授業展開 ・言語（対話）活動の充実
<p>具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決学習を取り入れ、予想、追求、比較検討、発表する力を育てる。 ・個を活かす指導に取り組み、わかる授業の工夫に努める。 ・数学的な見方・考え方のおもしろさを実感できる課題を工夫する。 ・小单元ごとに振り返りをすることで、わかったこと等を自分なりの言葉で書く活動を充実させる。 ・小テストや単元テストを各学年で行う。各学年の実態に応じて、生徒が前向きに取り組めるような内容にする。 ・T Tや学力向上支援員を有効的に活用し、個の学力に応じた支援と基礎学力の定着を目指す。

令和6年度 数学科年間指導計画

		第1学年		第2学年		第3学年			
月	章	節		章	節		章		
4	整数の性質			1	1 式の計算		1	1 多項式の計算	
		5	正負の数		1 正負の数			2	2 文字式の利用
2 加法と減法				3 式の計算の利用		問題・まとめ			
3 乗法と除法				問題・まとめ		2	1 平方根		
6		4 正負の数の利用		2	1 連立方程式とその解き方		2	2 根号をふくむ式の計算	
		問題・まとめ			2 連立方程式の利用			問題・まとめ	
7	2 文字と式	1 文字を使った式		3	1 1次関数		3	1 2次方程式とその解き方	
		2 文字式の計算			2 1次関数と方程式			2 2次方程式の利用	
9		3 文字式の利用		3	2 1次関数の利用		4	1 関数 $y = ax^2$	
		問題・まとめ			3 1次関数の利用			2 いろいろな関数の利用	
10	3 方程式	1 方程式とその解き方		4	問題・まとめ		5	1 相似な図形	
		2 1次方程式の利用			1 説明のしくみ			問題・まとめ	
	4 比例と	1 関数		4	2 比例				
		2 比例							

		第1学年		第2学年		第3学年			
月	章	節		章	節		章		
11	反比例			と合同	2 平行線と角		図形と相似		
		3 反比例						2 平行線と比	
		4 比例と反比例の利用			3 合同な図形				
		問題・まとめ						3 相似な図形の面積と体積	
	5	1 図形の移動			問題・まとめ			問題・まとめ	
12	平面図形	1 三角形		5 三角形と四角形	1 三角形		6 円		
		2 基本の作図						1 円周角の定理	
		3 おうぎ形			2 平行四辺形			2 円周角の定理の利用	
		問題・まとめ						問題・まとめ	
1	6 空間図形	1 いろいろな立体		6 確率	1 確率		7 三平方の定理		
		2 立体の見方と調べ方						2 三平方の定理の利用	
		問題・まとめ			問題・まとめ			問題・まとめ	
2	7 資料の活用と分析	3 立体の体積と表面積		7 データの比較	1 四分位範囲と箱ひげ図		8 標本調査		
		問題・まとめ			問題・まとめ			2 標本調査の利用	
3	7 資料の活用と分析	1 資料の分析(累積度数)		問題・まとめ		1年間のまとめ			
		2 資料の活用(事柄の起こりやすさ)		問題・まとめ					
		問題・まとめ		1年間のまとめ					
		1年間のまとめ							

<p>教科担任</p>	<p>主任教諭 渡 邊 陽 部 員 名 目 黒 幸 輝 市 川 加津子</p>
<p>生徒の実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体として授業に真面目に取り組む生徒が多い。 ・全体として学習規律が身についている。 ・個人間の意欲や学力差が大きい。 ・指示に対しては取り組むが自ら意欲的に学ぶ姿勢が育っていない。 ・自分の考えをまとめたり、発表したりする力が不足している。 ・学んだことを社会に活かす態度が育っていない。
<p>指導の重点</p>	<p>○教科の経営目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の育成を図る。 ・基礎的事項の定着を図る。 ・学習形態や学習方法、資料活用等の工夫を図る。 ・課題意識を持たせ、意欲的な学習を展開させる。 ・評価方法の工夫と改善に取り組む。 ・新聞、ICT等を活用した授業の工夫に取り組む。
<p>具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会を頻繁に実施し、教科担当者の資料や授業例、教材の使用方法的交換をする。 ・課題学習に取り組む。 ・オリエンテーションを充実させる。 (授業の約束 家庭学習の方法 ノートの使い方 話し合いの仕方 学び合いの仕方) ・学習リーダーを育成し、話し合い等の学習班の育成をする。 ・資料の発掘と指導過程の工夫に取り組む。 ・発問の工夫に取り組む。 ・授業中の評価を工夫する。 ・まめに小テストを行う。

第1学年（105時間）

月	時間	地理（55時間）	歴史（50時間）
4月	6	持続可能な社会の実現に向けて（1時間）	
5月	10	1編第1章 世界の姿（7時間） 1編第2章 日本の姿（6時間） 2編第1章 世界各地の人々の生活と環境（10時間）	
6月	12		持続可能な社会の実現に向けて（1時間） 1時間
7月	7		第1章 歴史へのとびら（6時間） 1節 歴史をとらえる見方・考え方 4時間 2節 身近な地域の歴史 2時間 特設 身近な地域の歴史（3時間） 3時間 第2章 古代までの日本（22時間） 導入 1時間 ＜評価及び予備時間を含む＞
8・9月	11		1節 世界の古代文明と宗教の起こり 7時間 ＜評価及び予備時間を含む＞ 2節 日本列島の誕生と大陸との交流 3時間
10月	12	2編第2章 世界の諸地域（31時間）	3節 古代国家の歩みと東アジア世界 11時間 ＜まとめ、評価及び予備時間を含む＞
11月	13	1節 アジア州 7時間 —急速な都市の成長と変化— 2節 ヨーロッパ州 5時間 —国どうしの統合による変化—	
12月	10	3節 アフリカ州 4時間 —国際的な支援からの自立に向けて— 4節 北アメリカ州 6時間 —多くの人々を引きつける地域— ＜評価及び予備時間を含む＞ 5節 南アメリカ州 前半 3時間 —開発の進展と環境問題—	
1月	8	5節 南アメリカ州 後半 1時間 —開発の進展と環境問題— 6節 オセアニア州 5時間 —強まるアジアとの結びつき— ＜評価及び予備時間を含む＞	第3章 中世の日本（18時間） 導入 1時間 1節 武士の政権の成立 6時間 ＜評価及び予備時間を含む＞
2月	10		
3月	6		2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開 11時間 ＜まとめ評価及び予備時間を含む＞

第2学年（105時間）

月	時間	地理的分野（60時間）	歴史的分野（45時間）
4月	6		第4章 近世の日本（24時間） 導入 1時間 第1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一 8時間
5月	12		第2節 江戸幕府の成立と対外政策 5時間
6月	12	第1章 地域調査の手法（6時間）	第3節 産業の発達と幕府政治の動き 10時間 <まとめ、評価及び予備時間を含む>
7月	6	第2章 日本の地域的特色と地域区分（前半）（6時間） <評価及び予備時間を含む>	
8月	10	第2章 日本の地域的特色と地域区分（後半）（6時間） 第3章 日本の諸地域（36時間）	
9月		1節 九州地方 5時間 —自然とともに生きる人々の暮らし—	
10月	12	2節 中国・四国地方 5時間 —交通・通信とともに変化する人々の暮らし—	
11月	12	3節 近畿地方 5時間 —都市・農村の変化と人々の暮らし—	
12月	9	4節 中部地方 5時間 —活発な産業を支える人々の暮らし— 5節 関東地方 5時間 —さまざまな地域と結びつく人々の暮らし— 6節 東北地方 5時間 —伝統的な生活・文化を受けつぐ人々の暮らし—	
		7節 北海道地方 6時間 —雄大な自然とともに生きる人々の暮らし— <評価及び予備時間を含む>	
1月	9	第4章 地域の在り方(前半)（3時間） 第4章 地域の在り方(後半)（3時間） <評価及び予備時間を含む>	第5章 開国と近代日本の歩み（21時間） 導入 1時間 1節 欧米における近代化の進展 5時間
2月	12		2節 欧米の進出と日本の開国 4時間 3節 明治維新 11時間
3月	3		<評価及び予備時間を含む>

第3学年（140時間）

月	時間	歴史（40時間）・公民（100時間）	
【歴史的分野 40時間】			
4月	10	第5章 開国と近代日本の歩み (8時間)	
		4節 日清・日露戦争と近代産業 8時間	
5月	14	第6章 二度の世界大戦と日本 (19時間)	
		1節 第一次世界大戦と日本 5時間	
		2節 大正デモクラシーの時代 3時間	
		3節 世界恐慌と日本の中国侵略 5時間	
6月	16	4節 第二次世界大戦と日本 6時間	
		第7章 現代の日本と私たち (13時間)	
		1節 戦後日本の出発 3時間	
		2節 冷戦と日本の発展 5時間	
7月	11	3節 新たな時代の日本と世界 5時間	
		【公民的分野 100時間】	
		第1章 現代社会と私たち (15時間)	
8月	14	1節 現代社会の特色と私たち 6時間	
		2節 私たちの生活と文化 3時間	
		3節 現代社会の見方や考え方 (前半) 2時間	<評価及び予備時間を含む>
9月	14	3節 現代社会の見方や考え方 (後半) 4時間	
		第2章 個人の尊重と日本国憲法 (17時間)	
		1節 人権と日本国憲法 6時間	
10月	16	2節 人権と共生社会 6時間	
		3節 これからの人権保障 5時間	<評価及び予備時間を含む>
		第3章 現代の民主政治と社会 (24時間)	
11月	16	1節 現代の民主政治 7時間	
		2節 国の政治の仕組み 10時間	
		3節 地方自治と私たち 7時間	<評価及び予備時間を含む>
12月	12	第4章 私たちの暮らしと経済 (25時間)	
		1節 消費生活と市場経済 6時間	
		2節 生産と労働 5時間	
1月	12	3節 市場経済の仕組みと金融 (前半) 2時間	
		3節 市場経済の仕組みと金融 (後半) 4時間	
		4節 財政と国民の福祉 4時間	
2月	15	5節 これからの経済と社会 4時間	<評価及び予備時間を含む>
		第5章 地球社会と私たち (15時間)	
		1節 国際社会の仕組み 6時間	
3月	4	2節 さまざまな国際問題 5時間	
		3節 これからの地球社会と日本 4時間	<評価及び予備時間を含む>
3月	4	終章 より良い社会を目指して (4時間)	

教科経営案

理 科

<p>教科担任</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭 唐鎌 陽子 ・部員名 平社 龍樹 <li style="padding-left: 100px;">江森 渉
<p>生徒の実態</p>	<p>本校の生徒は、「触ってみたい」、「見てみたい」、「体験してみたい」と好奇心が旺盛である。理科の授業について、楽しいと答える生徒が多い。全体としては落ち着いて授業に参加しつつも、やや受身になりがちである。実験・観察では、結果から考察したり、実験・観察の技能を身につけたりするといった探求的な学習における個人差も見られる。</p>
<p>指導の重点</p>	<p>○ 教科の努力点 科学的思考や表現力の育成を目指し、確かな学力を身につけるための授業実践</p> <p>● 指導の重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ①主体的な学び ②対話的な学び ③深い学び <p style="text-align: center;">① ~ ③ を意識した授業の展開を行う</p>
<p>具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何を学ぶのか意識し、その事象に興味・関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組める授業展開を行う。 ・子ども同士の協働、対話を手がかりにして比較検討しながら課題解決が行えるように話し合いの時間の確保を行う。 ・問題解決的な学習や探究的な学習を取り入れる。 ・新学習指導要領の内容についての授業について教材研究を行う。 ・観察・実験方法を見直し時間効率を高め、問題演習時間を確保することで、学習内容の整理・定着を図る。

【共通記載 (案)】「わかる」「できる」を実感させ、楽しく進んで学べる授業を目指す。

令和6年度 理科年間指導計画 中学1年

月	単元	章	時数	主な学習活動	小中一貫教育の視点 (▽これまで, ▲これから)	
4	単元1	第1章 生物の観察と分類のしかた(6)	4	第1節 身近な生物の観察	▽小3 身の回りの生物	
			2	第2節 生物の特徴と分類	▲中3 生物と環境	
5	いろいろな生物とその共通点	第2章 植物の分類(9+予備1)	1	第1節 身近な植物の分類	▽小3 身の回りの生物	
			3	第2節 果実をつくる花のつくり	▽小4 季節と生物	
			2	第3節 裸子植物と被子植物	▽小5 植物の発芽, 成長, 結実	
			2	第4節 花をさかせず種子をつくらない植物	▲中2 植物の体のつくりと働き ▲中3 生物の成長と殖え方 ▲中3 生物の種類の多様性と進化	
			1	第5節 さまざまな植物の分類	▲中3 生物の種類の多様性と進化	
6	動物の分類(9+予備1)	第3章	3	第1節 身近な動物の分類	▽小3 身の回りの生物 ▽小4 季節と生物 ▽小5 動物の誕生	
			2	第2節 セキツイ動物	▲中2 動物の体のつくりと働き	
			2	第3節 無セキツイ動物	▲中3 生物の成長と殖え方	
			2	第4節 動物の分類表の作成	▲中3 生物の種類の多様性と進化	
7	身のまわりの物質	第1章 身のまわりの物質とその性質(7+予備1)	1	第1節 物の調べ方	▽小3 電気の通り道	
			1	第2節 金属と非金属	▽小3 物と重さ	
			2	第3節 さまざまな金属の見分け方	▲中2 物質の成り立ち ▲中2 電流	
			3	第4節 白い粉末の見分け方		
9	気体の性質(4+予備1)	第2章	3	第1節 身のまわりの気体の性質	▽小6 燃焼の仕組み	
			1	第2節 気体の性質と集め方	▲中2 物質の成り立ち	
9	水溶液の性質(6+予備1)	第3章	3	第1節 物質が水にとけるようす	▽小5 物の溶け方	
			3	第2節 溶解度と再結晶	▲中2 物質の成り立ち ▲中3 水溶液とイオン	
10	物質の姿と状態変化(6+予備1)	第4章	1	第1節 物質の状態変化	▽小4 金属, 水, 空気と温度	
			2	第2節 物質の状態変化と体積・質量の変化	▲中2 化学変化と物質の質量	
			3	第3節 状態変化が起こるときの温度と蒸留		
11	光の世界(10+予備1)	第1章	1	第1節 物の見え方	▽小3 光と音の性質	
			2	第2節 光の反射	▽小6 月と太陽	
			3	第3節 光の屈折	▲中3 エネルギーと物質	
			4	第4節 レンズのはたらき		
11	音の世界(5)	第2章	2	第1節 音の伝わり方	▽小3 光と音の性質	
			3	第2節 音の性質	▲中3 エネルギーと物質	
12	力の世界(8+予備2)	第3章	2	第1節 日常生活のなかの力	▽小3 風とゴムの力の働き	
			3	第2節 力のはかり方	▽小3 磁石の性質	
			1	第3節 力の表し方	▲中3 力のつり合いと合成・分解	
			2	第4節 力のつり合い	▲中3 運動の規則性	
1	大地の変化	プロローグ(2)	2	身近な地形や地層, 岩石の観察		
			第1章 火をふく大地(6+予備1)	1	第1節 火山の姿からわかること	▽小6 土地の作りと変化
				2	第2節 火山がうみ出す物	▲中3 自然環境の保全と科学技術の利用
				2	第3節 火山の活動と火成岩	
2	動き続ける大地(5+予備1)	第2章	1	第4節 火山とともにくらす		
			3	第1節 地震のゆれの伝わり方	▽小6 土地の作りと変化	
			1	第2節 地震が起こるところ		
3	地層から読みとる大地の変化(9+予備2)	第3章	1	第3節 地震に備えるために		
			1	第1節 地層のつくりとはたらき	▽小4 雨水の行方と地面の様子	
			2	第2節 堆積岩	▽小5 流れる水の働きと土地の変化	
			1	第3節 地層や化石からわかること	▽小6 土地の作りと変化	
			1	第4節 大地の変動		
3	身近な大地の歴史	第4章	4	第5節 身近な大地の歴史		

令和6年度 理科年間指導計画 中学2年

月	単元	章	時数	主な学習活動	小中一貫教育の視点 (▽これまで、これから▲)
4	単元1 化学変化と原子・分子	第1章 物質のなり立ち (8)	3	第1節 ホットケーキの秘密	▽小4 空気と水のはたらき ▽小6 燃焼の仕組み ▽中1 物質のすがた ▲中3 水溶液とイオン ▲中3 化学変化と電池
			2	第2節 水の分解	
			1	第3節 物質をつくっているもの	
			1	第4節 分子と化学式	
			1	第5節 単体と化合物・物質の分類	
5		第2章 物質どうしの 化学変化(7)	3	第1節 異なる物質の結びつき	▽小6 水溶液の性質 ▽中1 水溶液 ▽中1 状態変化 ▲中3 水溶液とイオン ▲中3 化学変化と電池
			4	第2節 化学変化を化学式で表す	
		第3章 酸素がかかわる 化学変化 (6+予備1)	3	第1節 物が燃える変化	▽小6 水溶液の性質 △中1 水溶液 △中1 状態変化 ▲中3 水溶液とイオン ▲中3 化学変化と電池
			3	第2節 酸化物から酸素をとる化学変化	
6		第4章 化学変化と物質の 質量 (6+予備1)	3	第1節 化学変化と質量の変化	▽小6 水溶液の性質 ▽中1 水溶液 ▲中3 水溶液とイオン ▲中3 化学変化と電池
			3	第2節 物質と物質が結びつくときの物質の割合	
		第5章 化学変化とその 利用 (4+予備1)	4	第1節 化学変化と熱	▽小6 水溶液の性質 ▽中1 水溶液 ▲中3 水溶液とイオン ▲中3 化学変化と電池
7	単元2 生物のからだの つくりとはたらき	第1章 生物と細胞 (8+予備1)	2	第1節 水中の小さな生物	▽小3 身の回りの生物 ▽小4 人の体のつくりと運動 ▽小4 季節と生物 ▽小5 植物の発芽、成長、結実 ▽小5 動物の誕生 ▽小6 人の体のつくりと働き ▽小6 植物の養分と水の通り道 ▽中1 生物の観察と分類の仕方 ▽中1 生物の体の共通点と相違点 ▲中3 生物の成長と殖え方 ▲中3 遺伝の規則性と遺伝子 ▲中3 生物の種類の多様性と進化
			2	第2節 植物の細胞	
			2	第3節 動物の細胞	
			2	第4節 生物のからだと細胞	
9		第2章 植物のからだの つくりとはたらき (10)	3	第1節 葉と光合成	▽小3 身の回りの生物
			1	第2節 光合成に必要なもの	▽小4 人の体のつくりと運動
			1	第3節 植物と呼吸	▽小6 植物の養分と水の通り道
			3	第4節 植物と	▽中1 生物の観察と分類の仕方 ▽中1 生物の体の共通点と相違点
			2	第5節 水の通り	
10		第3章 動物のからだの つくりとはたらき (11+予備1)	4	第1節 消化のしくみ	▽小3 身の回りの生物
			1	第2節 吸収のしくみ	▽小4 人の体のつくりと運動
			1	第3節 呼吸のはたらき	▽小6 人の体のつくりと働き
			2	第4節 血液のはたらき	▽中1 生物の観察と分類の仕方 ▽中1 生物の体の共通点と相違点
			3	第5節 排出のしくみ	
		第4章 刺激と反応 (5+予備1)	2	第1節 刺激と反応	▽小3 身の回りの生物 ▽小4 人の体のつくりと運動 ▽小6 人の体のつくりと働き ▽小6 植物の養分と水の通り道 ▽中1 生物の観察と分類の仕方 ▽中1 生物の体の共通点と相違点
			2	第2節 神経のはたらき	
			1	第3節 骨と筋肉のはたらき	

11	単元3 天気と その変化	第1章 気象の観測 (15)	5	第1節	気象の観測	▽小3	太陽と地面の様子		
			3	第2節	大気圧と圧力	▽小4	雨水の行方と地面の様子		
			3	第3節	気圧と風	▽小4	天気の様子		
			4	第4節	水蒸気の変化と湿度	▽小5	流れる水の働きと土地の変化		
		12		第2章 雲のでき方と 前線 (6+予備1)	2	第1節	雲のでき方	▽小3	太陽と地面の様子
					4	第2節	気団と前線	▽小4	雨水の行方と地面の様子
				第3章 大気の動きと 日本の天気 (9+予備2)	1	第1節	大気の動きと天気の変化	▽小4	天気の様子
					1	第2節	日本の天気と季節風	▽小5	流れる水の働きと土地の変化
		2	第3節		日本の天気の特徴	▽小5	天気の変化		
		3	第4節		天気の変化の予測	▽小5	太陽と地面の様子		
		1	単元4 電気の 世界	第1章 静電気と電流 (6+予備1)	1	第1節	静電気と放電	▽小5	天気の変化
					2	第2節	電流の正体	▽小3	太陽と地面の様子
1	第3節				放射線の性質と利用	▽小3	雨水の行方と地面の様子		
2				第2章 電流の性質 (14+予備1)	2	第1節	電流の利用	▽小4	天気の様子
					2	第2節	回路に流れる電流	▽小5	流れる水の働きと土地の変化
					3	第3節	回路に加わる電圧	▽小5	天気の変化
					4	第4節	電圧と電流と抵抗	▽小6	太陽と地面の様子
					3	第5節	電気エネルギー	▽小6	雨水の行方と地面の様子
3				第3章 電流と磁界 (12+予備2)	3	第1節	電流がつくる磁界	▽小3	光と音の性質
					3	第2節	モーターのしくみ	▽小3	磁石の性質
					3	第3節	発電機のしくみ	▽小3	電気の通り道
					3	第4節	直流と交流	▽小4	電流の働き
						▽小5	電流がつくる磁力		
						▽小6	電気の利用		

令和6年度 理科年間指導計画 中学3年

月	単元	章	時数	主な学習活動	小中一貫教育の視点 (▽小学校、▼中学校)
4	単元1 化学変化とイオン	第1章 水溶液とイオン (8)	2	第1節 水溶液と電流	▽小4 空気と水の性質 ▽小5 物の溶け方
			3	第2節 電解質の水溶液の中で起こる変化	▽小6 水溶液の性質 ▼中1 物質のすがた
			3	第3節 イオンと原子のなり立ち	▼中1 水溶液 ▼中1 状態変化 ▼中2 物質の成り立ち ▼中2 化学変化
5	単元1 化学変化とイオン	第2章 酸、アルカリとイオン (9)	3	第1節 酸性やアルカリ性の水溶液の性質	▽小4 空気と水の性質 ▽小5 物の溶け方
			3	第2節 酸性、アルカリ性の正体	▽小6 水溶液の性質 ▼中1 物質のすがた
			3	第3節 酸とアルカリを混ぜ合わせたときの変化	▼中1 水溶液 ▼中1 状態変化 ▼中2 物質の成り立ち ▼中2 化学変化
6	単元1 化学変化とイオン	第3章 化学変化と電池 (9+予備2)	2	第1節 電解質の水溶液の中の金属板と電流	▽小4 空気と水の性質 ▽小6 水溶液の性質
			3	第2節 金属のイオンへのなりやすさのちがいと電池のしくみ	▼中1 物質のすがた ▼中2 物質の成り立ち
			2	第3節 ダニエル電池	▼中2 化学変化
			2	第4節 身のまわりの電池	▼中2 化学変化と物質の質量
7	単元2 生命の連続性	第1章 生物の成長と生殖 (9+予備1)	4	第1節 生物の成長と細胞の変化	▽小5 植物の発芽、成長、結実
			1	第2節 無性生殖	▽小5 動物の誕生
			2	第3節 有性生殖	▼中2 生物と細胞
			2	第4節 染色体の受けつがれ方	
9	単元2 生命の連続性	第2章 遺伝の規則性と遺伝子 (9)	5	第1節 遺伝の規則性	▽小4 季節と生物 ▽小5 動物の誕生
			1	第2節 遺伝子の本体	▼中1 生物の観察と分類の仕方
			3	第3節 遺伝子やDNAに関する研究成果の活用	▼中2 生物と細胞
10	単元3 運動とエネルギー	第3章 生物の多様性と進化 (6+予備1)	2	第1節 生物の歴史	▽小4 季節と生物
			1	第2節 水中から陸上へ	▽小5 動物の誕生
			1	第3節 ささまざまな進化の証拠	▼中1 生物の観察と分類の仕方
			2	第4節 進化と多様性	▼中2 生物と細胞
10	単元3 運動とエネルギー	第1章 物体の運動 (9+予備1)	3	第1節 物体の運動の記録	▽小3 風とゴムの力の働き
			2	第2節 物体の運動の速さの変化	▽小3 光と音の性質
			3	第3節 だんだん速くなる運動	▽小5 振り子の運動 ▽小6 てこの規則性
			1	第4節 だんだんおそくなる運動	▼中1 力の働き ▼中1 光と音 ▼中2 電流 ▼中2 電流と磁界
11	単元3 運動とエネルギー	第2章 力のはたらき方 (7+予備1)	3	第1節 力の合成と分解	▽小3 風とゴムの力の働き
			1	第2節 慣性の法則	▽小3 光と音の性質
			1	第3節 作用・反作用の法則	▽小5 振り子の運動 ▽小6 てこの規則性
			2	第4節 水中ではたらく力	▼中1 力の働き ▼中1 光と音 ▼中2 電流 ▼中2 電流と磁界
11	単元3 運動とエネルギー	第3章 エネルギーと仕事 (12+予備1)	2	第1節 ささまざまなエネルギー	▽小3 風とゴムの力の働き
			2	第2節 力学的エネルギー	▽小3 光と音の性質
			3	第3節 仕事と力学的エネルギー	▽小3 磁石の性質 ▽小3 電気の通り道
			3	第4節 仕事の原理と仕事率	▽小4 電流の働き

月	単元	章	時数	主な学習活動	小中一貫教育の視点 (▽小学校、▼中学校)
			2	第5節 エネルギーの変換と保存	▽小5 振り子の運動 ▽小5 電流がつくる磁力 ▽小6 てこの規則性 ▽小6 電気の利用 ▼中1 力の働き ▼中1 光と音 ▼中2 電流 ▼中2 電流と磁界
	単元4 地球と宇宙	プロローグ 星空をながめよう (2)	2	第1節 太陽	▽小3 太陽と地面の様子 ▽小4 月と星 ▽小6 月と太陽
		第1章 地球の運動と天体の動き (9+予備1)	2	第1節 太陽の1日の動き	▽小3 太陽と地面の様子 ▽小4 月と星 ▽小6 月と太陽
			1	第2節 地球の自転と方位、時刻	
			2	第3節 星の1日の動き	
			2	第4節 天体の1年の動き	
			2	第5節 地軸の傾きと季節の変化	
		第2章 月と金星の見え方 (6+予備1)	2	第1節 月の満ち欠け	▽小3 太陽と地面の様子 ▽小4 月と星 ▽小6 月と太陽
			1	第2節 日食と月食	
			3	第3節 金星の見え方	
		第3章 宇宙の広がり (5+予備2)	2	第1節 太陽系の天体	▽小3 太陽と地面の様子 ▽小4 月と星 ▽小6 月と太陽
	3		第2節 宇宙の広がり		
	単元5 地球と私たちの未来のために	第1章 自然のなかの生物 (5+予備1)	2	第1節 生態系	▽小3 身の回りの生物 ▽小4 季節と生物 ▽小4 雨水の行方と地面の様子 ▽小4 天気の様子 ▽小5 流れる水の働きと土地の変化 ▽小5 天気の変化 ▽小6 生物と環境 ▽小6 土地のつくりと変化 ▼中1 身近な地層や地層、岩石の観察 ▼中1 地層の重なりと過去の様子 ▼中1 火山と地震 ▼中1 自然の恵みと火山災害・地震災害 ▼中2 気象観測 ▼中2 天気の変化 ▼中2 日本の気象 ▼中2 自然の恵みと気象災害
			2	第2節 生態系における生物の関係	
			1	第3節 炭素の循環と地球温暖化	
		第2章 自然環境の調査と保全 (5+予備1)	3	第1節 身近な自然環境の調査	▽小3 身の回りの生物 ▽小4 季節と生物 ▽小4 雨水の行方と地面の様子 ▽小4 天気の様子 ▽小5 天気の変化 ▽小6 生物と環境 ▼中1 自然の恵みと火山災害・地震災害 ▼中2 気象観測 ▼中2 天気の変化 ▼中2 日本の気象 ▼中2 自然の恵みと気象災害
			1	第2節 人間による活動と自然環境	
	1		第3節 自然環境の開発と保全		

月	単元	章	時数	主な学習活動	小中一貫教育の視点 (▽小学校、▼中学校)
3		第3章 科学技術と人間 (7)	2	第1節 さまざまな物質とその利用	▽小3 磁石の性質 ▽小3 電気の通り道
		3	第2節 エネルギー資源の利用	▽小4 電流の働き ▽小4 空気と水の性質	
		2	第3節 科学技術の発展	▽小5 電流がつくる磁石 ▽小6 電気の利用 ▽小6 燃焼の仕組み ▼中1 物質のすがた ▼中2 電流 ▼中2 電流と磁界 ▼中2 物質の成り立ち	
		地域とつながる (3+予備1)	3	自然災害と地域のかかわりを学ぶ	▽小4 雨水の行方と地面の様子 ▽小4 天気の様子 ▽小5 流れる水の働きと土地の変化 ▽小5 天気の変化 ▽小6 生物と環境 ▽小6 土地のつくりと変化 ▼中1 身近な地形や地層、岩石の観察 ▼中1 地層の重なりと過去の様子 ▼中1 火山と地震 ▼中1 自然の恵みと火山災害・地震災害 ▼中2 気象観測 ▼中2 天気の変化 ▼中2 日本の気象 ▼中2 自然の恵みと気象災害
		終章 持続可能な社会をつくるために (4+予備2)	4	第1節 地球環境と私たちの社会	▽小4 雨水の行方と地面の様子 ▽小4 天気の様子 ▽小5 流れる水の働きと土地の変化 ▽小5 天気の変化 ▽小6 生物と環境 ▽小6 土地のつくりと変化 ▼中1 身近な地形や地層、岩石の観察 ▼中1 自然の恵みと火山災害・地震災害 ▼中2 気象観測 ▼中2 天気の変化 ▼中2 日本の気象 ▼中2 自然の恵みと気象災害

<p>教科担任</p>	<p>主任教諭 福田 優果 部員名 小山 晃弘 野本 順子</p>
<p>生徒の実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業に真面目に取り組むワークシートなど熱心の行う生徒が多い。 ・ 言語活動に楽しく主体的に取り組む生徒が多い。 ・ 聞く、話す力はある程度あるが、まとまって英文を読んだり、自分の意見や考えをまとめて、正しく英語で表現したりする力が不足している。 ・ 意欲、学力の差が大きい。
<p>指導の重点</p>	<p>○教科の経営目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5つの領域をバランスよく関連付け、コミュニケーション能力の基礎を養う指導の充実 ・ 基礎・基本を身に着ける指導の工夫、特に「書く力」を伸ばす ・ 自信をもたせるために、1人1回は必ず発表する機会を設ける授業の実施
<p>具体的な取組</p>	<p>(1) 場面を捉え目的意識をもったコミュニケーション活動の教材を開発する。 ・ 他教科や行事等に関連したものなどを英作文の題材にするなど</p> <p>(2) 指導家庭や学習形態を工夫する。 ・ ALTとの Team Teaching の活用 ・ ペアやグループなどの効果的な活用 ・ コミュニケーション活動の実践と充実</p> <p>(3) 生徒一人一人の良さや可能性を生かす評価の工夫に取り組む。</p> <p>(4) 学習意欲を高め、興味をもたせる授業の展開を工夫する。</p> <p>(5) アクティブラーニングを取り入れ、生徒同士の学び合いの場を増やす。</p> <p>(6) デジタル教科書等、ICT 機器を効果的に活用する。</p>

月	旬	単元名（テーマ）	時数
4月	中	○Let's Be Friends! 気持ちや状態を表す言葉、色を表す言葉、国名、数を表す言葉、日付・月を表す言葉、アルファベットの大文字・小文字、基本的な英単語	8
	下	○Here We Go!（自己紹介を聞く、書く） be 動詞、一般動詞、can	9
5月	上	○Daily Life 国際郵便（宛名、住所を書く）	
	中	○Club Activities （得意なこと聞き取る、尋ね合う）	1
	下	be 動詞・一般動詞・can の疑問文	9
6月	上	○Enjoy the Summer（したいことなどを聞き取る、夏休みについてアンケートを取る） what、動詞 ing、want to 動詞の原形	9
	中	○World Tour（世界の中学生）	
	下	○Active Grammar1	
7月	上	○You Can Do It!1	1
	中	（自己紹介で共通点・相違点を見つける）	2 2
9月	上	○Our New Friend （人物紹介を聞き取る、身近な人について紹介する）	10
	中	三人称、代名詞、who、be 動詞の否定文	
	下	○This Is Our School （案内状を読み取る、学校の施設について尋ねあう）	
10月	上	where、命令文、when	10
	中	○Daily Life2（落とし物）Whose	
	下	○Active Grammar2（代名詞） ○Cheer Up, Tina	
11月	上	（紹介文から、人物を読み取る、身近な人の紹介文を書く）	10
	中	三人称単数現在、三人称一般動詞の疑問文・否定文	
	下	○Active Grammar 3 ○Daily Life3（カフェ）	
12月	上	○World Tour2（世界の時刻）	1
		○Active Grammar4	1
	中	○Let's Read 1（What am I?）	1
		○You Can Do It! 2 （ドリームファミリーを紹介しよう）	1 2
1月	上	○New Year Holidays in Japan （はがきから出来事などを読み取る、冬休みの出来事や感想を書くことができる）	11
	中	be 動詞の過去形、一般動詞の過去形（規則・不規則）、過去形の疑問文・否定文	

	下	○Active Grammar 5 ○Daily Life 4 (ウェブサイト)	
2 月	上	○Getting Ready for the Party (写真の説明から状況を聞き取る、写真の状況の説明文を書く)	1 1
	中	現在進行形(肯定文・否定文・疑問文)、look～ ○Active Grammar 6 ○Daily Life 5 (ラジオの中継)	10
	下	○Let's Read 2 (The Lion and the Mouse) ○You Can Do It! 3 (学校行事の紹介ページを作ろう)	1 1 2
	上	○Let's Read More (My Japanese Lessons)	2
3 月	中		2

※定期テスト実施及び返却・解説(10時間程度)

※各学校の実態に応じて、各学期にパフォーマンステストを行う。(19時間程度)

月	旬	単元名（テーマ）	時数
4月	中	○Hajin' s Diary（日記を読む／書く） 動詞の過去形、過去進行形、接続詞 when	10
	下	○Active Grammar 1	1
5月	上	○Basketball Tournament（インタビューを聞く／したいことなどをたずね合う）	10
	中	動名詞、不定詞（名詞的用法）、I think(that)	
	下	○Active Grammar 2	
6月	上	○Daily Life 1 電話（何かを頼むやり取りをする） 電話での特有な表現、Can you～?	1 1
	中	○Plans for the Summer（メールを読む／書く） be going to、助動詞 will、接続詞 if	10
	下	○Active Grammar 3	
7月	上	○Daily Life 2 アナウンス （必要な情報を聞き取る）	1 1
	中	○Let' s Read 1 Sukh' s White Horse （物語のあらすじをつかむ）	3
		○World Tour 1 いろいろな単位	
		○You Can Do It! わが町観光プランをおすすめしよう	1 2
9月	上	○Daily Life 3 レストラン ○Tour in New York City	1 10
	中	（ガイドブックを読む／場所を紹介する） There is/are、SV00、不定詞（形容詞的用法）	
	下	○Daily Life 4 道案内（Could you～?、how） ○Let' s Read more 1 The Statue of Liberty	1 1
10月	上	○Active Grammar 4 目的語（SV0、SV00）	1
	中	○Earthquake Drill（説明を聞き取る／話し合いをする）have to、助動詞 must、should	10
	下	○Daily Life 5 イベントのお知らせ ○Daily Life 6 体調不良 You look、助動詞 should	1 1
11月	上	○Active Grammar 5 助動詞	1
	中	○Work Experience（レポートを読む／書く） 不定詞（副詞的用法）、接続詞 because	10
	下	○Active Grammar 6 不定詞（形容詞的・副詞的）	1
		○Active Grammar 7 接続詞 ○Let' s Read 1 Meet Hanyu Yuzuru	1 3
12月	上	○World Tour 2 世界を舞台に働く人	1

	中	接続詞 when、that ○You Can Do It! 職業診断のチャートを作ろう	2
1 月	上	○Amazing Australia 観光案内を読む／書く 形容詞の比較級、最上級、as～asの構文	10
	中	○Daily Life 7 観光案内 音声案内を聞く	1
	下	比較級、最上級、as～as、接続詞 if、there is	
2 月	上	○Active Grammar 8 比較表現	1
	中	○Staging a Musical (学級新聞を読む／好きな作品を紹介する)	10
	下	受け身、SVOC、want+人+不定詞 ○Active Grammar 9 受け身の文	1
3 月	上	○Daily Life 8 音声ガイド	1
		○Let' s Read 2 Emojis-from Japan to the World	4
	中	受け身、接続詞 because、助動詞 should	1
		○World Tour 3 世界遺産めぐり	2
		○You Can Do It! 3 日本のおもしろいものを紹介しよう	2
		○Let' s Read more 2 Aboriginal Art	

※定期テスト実施及び返却・解説（10時間程度）

※各学校の実態に応じて、各学期にパフォーマンステストを行う。（11時間程度）

月	旬	単元名（テーマ）	時数
4月	中	○School Life Around the World（学校紹介） 受動態、let/help人もの、tell人that	10
	下	○Daily Life 1 ディスカッション（聞き取り）	1
5月	上	○Our School Trip（おすすめの場所）	10
	中	現在完了「完了」「経験」	
	下	○Daily Life 2 留守番電話	1
6月	上	○Lessons From Hiroshima（経験や心情） 現在完了「継続」、It is (for人) to ~	10
	中	○Active Grammar 1 現在完了、現在完了進行形	2
	下	○Let's Read 1（出来事や気持ちを捉える）	4
7月	上	○World Tour 1（世界の現状を知ろう）	1
	中	○You Can Do It!① 過去と現在の相違点	2
9月	上	○AI Technology and Language（投稿文） 関係代名詞 主格〈who, which, that〉	10
	中	○Let's Read 2（説明文の要旨を捉える）	4
	下	○Daily Life 3 ポスター	1
10月	上	○Plastic Waste（プレゼンテーション）	10
	中	関係代名詞 目的格、後置修飾	
	下		
11月	上	○Daily Life 4 ニュース	1
	中	○The Chorus Contest（場面や状況に合わせて）	10
	下	現在分詞、過去分詞の後置修飾、間接疑問文	
12月	上	○Active Grammar 2 後置修飾	2
	中	○You Can Do It!② 意見を伝える	2
1月	上	○Tina's Speech（スピーチを聞く／する） 疑問詞+to 動詞の原形、仮定法 if	8
	中	○World Tour 2（世界の現状を知ろう）	1
	下	○Let's Read 3（スピーチの要点）	4
2月	上	○Goodbye, Tina（手紙を読む／書く）	7
	中	仮定法 I wish	
	下	○You Can Do It!③ 3年間を締めくくる 英語の詩を考えよう	2
3月	上	○The Runner Wearing Number 67	2
	中	○Visas for 6,000 Lives	3
		○The Adventures of Tom Sawyer	3

※定期テスト・実力テスト実施及び返却・解説（14時間程度）

※各学校の実態に応じて、各学期にパフォーマンステストを行う。（15時間程度）

教科担任	主任教諭 白倉香奈子
生徒の実態	<p>曲の構成や成り立ちに関心を持ち、音楽のよさや美しさを感じ取ることのできる生徒が多い。全体的に歌ったり演奏したりすることで表現を工夫しようとする姿勢が見られるが、表現することに苦手意識をもっている生徒との温度差がある。また、音楽を表現するための基礎的な知識や技能が身につけている生徒は少なく、読譜に苦手意識をもっている生徒が多いため、知識や技能等の基礎基本の定着を図ることが課題である。</p>
指導の重点	<p>○教科の経営目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現（歌唱・器楽・創作）及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。 ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律の確立 ・指導のねらいや手立ての明確化 ・音楽活動の基礎的・基本的な能力を伸ばすための教材の充実 ・ICT 機器の活用 ・生徒の音楽活動における活躍の場の設定 ・本物の音楽に触れさせる体験 ・評価の工夫

令和6年度 音楽科年間指導計画

月	1学年（45時間）	2学年（35時間）	3学年（35時間）
4	○オリエンテーション ○思いを込めて合唱しよう ・「校歌」 ・「We' ll Find The Way」 ・全校合唱曲	○オリエンテーション ○曲の構成や曲想を感じ取って歌おう。 ・校歌 ・「夢の世界を」 ・全校合唱曲	○オリエンテーション ○情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。 ・校歌 ・「花」 ・全校合唱曲
5	○音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう ・「春-第1楽章-」 ○イメージと音楽との関わりを感じ取ろう ・「ジョーズのテーマ」	○息の出し方に注意して演奏しよう。 ・アルトリコーダー 「喜びの歌」～「カノン」 ○曲のしぐみに注目して名曲に親しもう。 ・「フーガト短調」	○曲が生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じ取りながら聴こう。 ・「ブルタバ（モルダウ）」 ○表現を工夫して、豊かな響きを味わおう。 ・「星の世界」
6	○息の出し方に注意して演奏しよう。 ・アルトリコーダー 「喜びの歌」～「カノン」	○和音の音を使って旋律を作ろう。 ・「My Melody」 ○サミングを用いて演奏しよう。 ・「虹の彼方に」～「きらきら星」	○アカペラによる響きの美しさを味わいながら合唱しよう。 ・「四月のあさの」
7	○情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。 ・「浜辺の歌」	○情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう。 ・「夏の思い出」	○構成を生かしてリズムアンサンブルをつくろう。 ・「Let's Create！」
9	○詩の内容と曲想とのかかわりを感じ取ろう。 ・「魔王」	○曲のしぐみに着目して名曲を楽しもう。 ・「交響曲第5番ハ短調」	○混声合唱の豊かな響きを味わおう。 ・全校合唱曲
10	○混声合唱をつくる喜びを味わおう。 ・全校合唱曲 ・クラスの合唱曲	○混声合唱の響きを味わおう。 ・全校合唱曲 ・クラスの合唱曲	○日本の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わおう。 ・能「敦盛」
11	○音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう。 ・リズムアンサンブル	○アルトリコーダーのハーモニーを味わおう。 ・「木星」 ・「ラヴァーズコンチェルト」	○日本の歌のよさや美しさを理解して歌唱表現を工夫しよう。 ・「花の街」
12	○情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。 ・「赤とんぼ」 ○リコーダーアンサンブルを楽しもう。 ・「木星」	○オペラに親しみ、その音楽を味わいながら聴こう。 ・「アイーダ」	
1	○日本の伝統音楽に親しもう。 ・箏曲「六段の調」 ・雅楽「越天楽」	○日本の伝統音楽に親しみ、そのよさを味わおう。 ・歌舞伎「勸進帳」 ○歌詞や旋律が醸し出す雰囲気 を味わいながら歌おう。 ・「荒城の月」	○情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌おう。 ・「早春賦」
2	○日本の音階を使って旋律をつくろう。	○曲想を生かして表情豊かに歌おう。 ・「サンタルチア」	○曲のよさをプレゼンテーションしよう。 ・「ボレロ」
3	・「My Melody」 ○卒業式歌、リコーダー合奏 ・「旅立ちの日に」 ・「木星」	○卒業式歌、リコーダー合奏 ・「旅立ちの日に」 ・「木星」	○卒業式歌 ・「旅立ちの日に」 ・学年合唱曲

教科経営案

美術科

教科担当	主任教諭 甘楽 紘子
生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手意識はあっても楽しめる制作や興味を持てる題材には、躊躇なく取り組める。 ・生徒は授業に対して意欲的に取り組める生徒が多いが、作品の主題やそれを表現することについて深めきれない生徒が少なくない。 ・学年が上がるにつれて、題材の内容が複雑になることもあり、完成までの助言や題材の提示方法が重要になってくる。
教科の経営目標	<p>①教科経営の重点目標</p> <p>『生徒が主題を深め、自分の活動や表現に満足できる授業づくり』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入やワークシートを工夫し、生徒の興味・関心を高め、理解を深める。 ・自己評価表の取り組みを通して、生徒理解に務め、個々への指導が適格にできるようにする。 ・生徒が見通しを持って授業に取り組めるよう自己評価表や板書を工夫する。 ・作品から生徒一人ひとりの思いを感じとり、自信や工夫につながるような声かけを行う。 <p>②教育に関する3つの達成目標との関連</p> <p>★「学力」をつけるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい説明を心がけ、道具の特徴や使い方に関して、知識だけで終わることなく実際に使いこなせる能力を身につけられる指導の工夫をする。 ・様々な作品に触れさせ、制作の中で色彩や構図、形などを総合的に考え、判断する力を養う場を設ける。 <p>★「規律ある態度」を身につけるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい授業態度や規律の定着を図るために継続した指導を行う。 ・作品の見方や自分の思ったことを表現する方法を身につけさせることで、他者理解や他者受容が自然にできるようにする。
具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価表を用いて振り返りと次回への目標設定をさせることで見通しを持った制作につなげるとともに、つまずきのある生徒を早期発見し助言を行う。 ・パワーポイントや図版などの資料を効果的に使い、生徒の興味関心を高める。 ・板書を工夫し、1時間の流れや目標を明確に示す。 ・よいところを積極的にほめ、生徒のやる気を引き出す指導を行う。

令和6年度 第1学年美術科年間指導計画

学期	題材名	時間	教科書ページ	学習内容	学習の目標			評価
					知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	オリエンテーション 学びの地図	1	2～7	1年間の美術の授業で学ぶことや授業の約束について確認する。			美術の授業で学ぶことに関心をもち、主体的に取り組む。	授業態度
				これからの制作活動に生かせるように色彩についての知識を身に付ける。	色彩や色彩がもたらす効果について理解する。	色彩や色彩がもたらす効果に関心をもち、主体的に取り組む。	授業態度・発言 期末テスト	
	形と色彩のメッセージ～	3	36、37	「色を学ぶ、色を知る」で理解したことを生かして、絵の具を使って、色彩による表現に取り組む。	形や色彩の性質を理解し、材料などを工夫して表す。	目的や条件などをもち、伝える内容に合った色の使い方を考える。	生活や社会豊かにする形や色彩に関心をもち、主体的に取り組む。	授業態度 作品
	見ることからの発見 鉛筆で表す ～デッサン入門～	4	10、11 52	鉛筆で陰影を写し取ることで、紙の上に立体を表現する技法を学び、実践する。	ものの見方やとらえ方を理解し、描き方を工夫して表す。	身近なものよさや美しさから描きたいことを考えよう。	身近なものに関心をもち、表現することを楽しむ。	授業態度 作品
人の姿・動き ～身近な人を見つめて～ 絵の具で表す	9	16～19 54	友達を観察し、友達の魅力を表現できる表情やポーズを工夫して絵で表す。	人体のとらえ方を理解し、表し方を工夫しよう。	身近な人の動きやポーズなどから、表したいことを考える。	身近な人を表現することに関心をもち、主体的に取り組む。	授業態度 自己評価シート 作品	

2	鑑賞 ～伊藤若冲の世界～	1	24～29	樹花鳥獣図をはじめ、伊藤若冲の作品を鑑賞し、描かれた動物や技法についてお互いの感想を共有しながら見方を深める。	作品の造形的な特徴を理解し、若冲の作風をとらえる。	作品のよさや美しさを感じ取り、若冲の意図や表現の工夫について考える。	若冲の作品の鑑賞を楽しみ、主体的に取り組む。	授業態度・発言 鑑賞ワークシート 期末テスト
	生命力を感じて	10	22、23	動物のしぐさや特徴をとらえ、紙でかたどったり貼り重ねたりすることで温かみを感じられる作品を作る。	表したいものの形や色彩、質感をとらえ、立体的に表す。	表したいものの特徴から発想を広げ、生命力のある表現を考えよう。	生き生きとした姿を表現することに関心をもち、主体的に取り組む。	授業態度・発言 自己評価シート アイデアスケッチ 作品 鑑賞ワークシート
	あったらいいなを形に 機能と美しさの調和	5	34、35 42、43	身近にある、使いやすさや美しさを考えてデザインされた道具に焦点をあて、工夫点について考える。鑑賞で考えたことを元に身近な道具を自分でデザインする。	生活や社会を豊かにするデザインのことを考え方を理解し、目的や機能に応じた様々な形や色彩で表す。	身近な用具のよさや美しさを感じ取り、機能と美しさの関係について考える。	身近なものの機能と美しさに関心をもち、主体的に取り組む。	授業態度・発言 ワークシート 作品
3	文字を活用する(レタリング) ロゴマークで印象づける	2	56、57	身の回りで使われている字体(明朝体・ゴシック体)について学習し、デザインされた文字によって情報が伝わることを理解する。	ロゴタイプやシンボルマークの機能や意図について理解する。明朝体やゴシック体の特徴を理解し、表す。	相手に伝える目的や機能をもとに、ロゴタイプやシンボルマークを考えよう。	身近なロゴタイプやシンボルマークに関心をもち、主体的に取り組む。	授業態度 ワークシート 期末テスト
	紙で作る～私の気持ちをかたちに～	8	44、45	紙を使って、誰かに贈るグリーティングカードを制作する。贈る相手や目的に合ったカードを飛び出す仕掛けで表現する。	紙の特徴を理解し、作りたいものに合った制作方法を工夫する。	紙の特徴から発想し、生活を楽しむ作品を考える。	生活で使う紙の作品に関心をもち、楽しく表現する。	授業態度・発言 自己評価シート アイデアスケッチ 作品

令和6年度 第2学年美術科年間指導計画

学期	題材名	時間	教科書 ページ	学習内容	学習の目標			評価
					知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	
1	オリエンテーション	1	6、7	1年間の美術の授業で学ぶことや授業の約束について確認する。				授業態度
	鑑賞 ～ゴッホと自 画像～	1	18、19	ゴッホの数枚の自画像を鑑賞し、筆のタッチや使われた色から、ゴッホの心情や表現の工夫についてお互いの考えを共有し、見方を深める。	色彩の特徴や筆使いの変化を理解しゴッホの作風をとらえる。	自画像に込めたゴッホの心情や表現の工夫を考える。	ゴッホとその作品に関心を持ち、主体的に鑑賞する。	授業態度・発言 鑑賞ワークシート 期末テスト
	自分と向き合う～14 才の肖像画	9	14～17	現在の自分を見つめ、自分が頑張っていることや考えていることなどを絵で表現する。	色彩や材料などの性質を理解し、自分らしさを表す方法を工夫する。	自分自身と向き合うことから表現の構想を練る。	自分らしさを表すことに関心を持ち、主体的に取り組む。	授業態度 自己評価シート アイデアスケッチ 作品
2	鑑賞 光をとらえる 印象派	1	60、61	刻々と変化する光を作品に取り入れた印象派の作品を鑑賞し、画家の思いや表現の工夫について見方を深める。	印象派の美術について理解する。	印象派の作品のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める。	印象派の美術に関心を持ち、主体的に鑑賞する。	授業態度・発言 鑑賞ワークシート 期末テスト
	場と形の響き合い	9	32、33	“場”に応じた立体作品を、目的や環境を考えて制作し、空間演出について学習する。	環境と響き合う形や色彩などの特徴を理解し、表現方法を工夫する。	作品を設置する場所から主題を生み出し、構想を練る。	身近な環境と響き合う彫刻に関心を持ち、主体的に取り組む。	授業態度・作品 自己評価シート アイデアスケッチ 鑑賞ワークシート

鑑賞 最後の晩餐	1	2・3 56、57	レオナルド・ダ・ヴィンチの『最後の晩餐』を鑑賞し、描かれた人物の表情やポーズに注目してどんな場面なのか考える。	作品に見られる図や工夫について理解する。	作品のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める。	作品に関心をもち、主体的に鑑賞する。	授業態度・発言 鑑賞ワークシート 期末テスト
形と色彩が織りなすイメージ	3	24、25	形や色彩が与えるイメージについて理解し、自分の感情や思いを表現する。	形や色彩がもたらす効果を理解し、抽象的な表現を工夫する。	心の中を深く見つめ、感じ取ったり考えたりしたことから表現の構想を練る。	抽象的な表現に関心をもち、主体的に取り組む。	授業態度・発言 自己評価シート アイデアスケッチ 作品
鑑賞 ゲルニカで伝えられたこと	1	94、95	ピカソの作風について学習し、キュービズムで描かれた『ゲルニカ』を鑑賞する。お互いの感想を共有しながら、ピカソが作品に込めた思いや表現の工夫について見方を深める。	ゲルニカが描かれた背景や造形表現について理解する。	ピカソの表現の意図や工夫を考え、作品の見方や感じ方を深める。	平和や命の尊さについて関心をもち、見方を深める。	授業態度・発言 鑑賞ワークシート 期末テスト
3 漫画の表現	8	112	サブカルチャーとして世界でも認められたマンガの技法について学び、それを使ってマンガでの表現に取り組む。	漫画の効果や演出を理解し、漫画の表現を工夫する。	自分が伝えたい内容や事柄から表現の構想を練る。	漫画の表現に関心をもち、主体的に取り組む。	授業態度・発言 自己評価シート ワークシート 作品
鑑賞 日本の美	1	38~47	日本に古くから伝わる文化や美術品について学習し、その文化が出来上がった背景や日本人が大切にしてきた精神などにも触れながら、鑑賞する。	日本に古くから伝わる文化や美術品などの内容や造形的な特徴を理解する。	日本に古くから伝わる文化や美術品などのよさや美しさを感じ取り、美術文化の見方や感じ方を深める。	日本に古くから伝わる文化や美術品などに関心をもち、主体的に鑑賞する。	授業態度・発言 鑑賞ワークシート 期末テスト

令和6年度 第3学年美術科年間指導計画

学 期	題材名	時 間	教科書 ページ	学習内容	学習の目標			評価	
					知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り 組む態度		
1	オリエンテーション 鑑賞 京都・奈良	1	2・3 6～9	1年間の美術の授業で学ぶこととや授業の約束について確認する。			美術の授業で学ぶことに関心をもち、主体的に取り組む。	授業態度	
				修学旅行で訪れる京都・奈良について、寺社や仏像を中心とした美術作品を鑑賞する。	寺社や仏像の特徴や文化などについて理解している。	それぞれの寺社や仏像からよさや美しさを感じ取っている。	修学旅行で訪れる京都・奈良の寺社や仏像に関心をもち、主体的に取り組む。		授業態度、発言 鑑賞ワークシート 期末テスト
				「現実ではありえない世界」「自分の理想や夢の世界」など物語や音楽からイメージを広げて、空想画を描く。	色彩や材料などの性質を理解し、自分の思いや空想の世界を表現する方法を工夫する。	自分の体験、見る、読むなどの経験から膨らませた新しい世界をイメージし、構想を練る。 作品に表された作者の意図や工夫を感じ取る。	空想の世界をイメージすることに関心をもち、主体的に取り組む。		
2	この場所、この場面	10	2・3 28、29	自分の経験の中で印象に残った場面を様々な材料を組み合わせて表現する。	材料や用具の特徴などを理解し、関節や筋肉などの人体の動きを表そうと工夫する。	自分の軽系や思いが伝わるように表現の構想を練る。 作者の思いを考えながら、作品の良さや美しさを感じ取る。	自分の経験から印象に残った場面を表すことに関心をもち、主体的に取り組んでいる。	授業態度、発言 自己評価シート 作品 鑑賞ワークシート	

2	水墨画の世界	4	2・3 22、23	墨と水、紙というシンプルな材料で描かれる水墨画の技法を体験し、それを生かして自分の表現につなげる。	墨の表現の特徴を理解し、材料の特徴を生かした表現を工夫している。	墨の効果を生かした表現方法から発想を広げ、表したい内容について構想を深める。	墨と水と紙が生み出す豊かな世界に関心をもち、主体的に取り組む。	授業態度・発言 自己評価シート 作品
3	自分たちの場を飾ろう	8	2・3 64、65 68～ 71	校内の様々な場に注目し、その場の目的や状況を考えながら、学校生活が楽しくなるような場にデザインする。	色彩や場所などの性質を理解し、目的に合った表現を工夫している。	学校生活が楽しくなる空間演出について、目的や場所、方法などの構想を練る。	空間を演出することの意味や方法に関心をもち、主体的に取り組んでいる。	授業態度、発言 自己評価シート 作品

教科経営案

保健体育科

教科担任	主任教諭 野宮 香織 部員名 馬場 洋平
生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が好きな生徒が多い。 ・運動能力が高い生徒と低い生徒の2極化がある。
指導の重点	教科の経営目標 体育 <ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性を味わわせ、体力と運動技能を高めさせる。 保健 <ul style="list-style-type: none"> ・健康で安全な生活を営むための実践力を育てる。
具体的方策	体育 <ul style="list-style-type: none"> ・授業規律の確立と効果的な授業展開。 ・生徒の実態に応じた課題設定をさせる。 保健 <ul style="list-style-type: none"> ・健康安全に関して、1人1人が正しく判断し、行動できるようにさせる。 共通 <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学習をさせるために、学習資料を工夫する。 ・学習効果を高めるために指導法を工夫する。

保健体育科 年間指導計画

<体育分野>

月	1学年		2学年		3学年	
	単元	時間	単元	時間	単元	時間
4月	○体育理論	3	○体育理論	3	○体育理論	3
	○体づくり運動	7	○体づくり運動	6	○体づくり運動	6
5月	○陸上競技	13	○器械運動	12	○陸上競技 器械運動 から1選択	13
6月	○球技Ⅰ ・バスケットボール ・サッカー から1選択	11	○球技Ⅰ ・バスケットボール ・サッカー から1選択	11	○球技Ⅰ ・バスケットボール ・サッカー から1選択	10
7月						
9月	○体づくり運動	14	○体づくり運動	11	○体づくり運動	11
10月	○球技Ⅱ ・バドミントン ・ソフトボール	16	○球技Ⅱ ・バドミントン ・ソフトボール	18	○球技Ⅱ ・バドミントン ・ソフトボール から1選択	13
11月						
12月	○ダンス 球技Ⅲ ・ハンドボール	15	○ダンス 球技Ⅲ ・ハンドボール	14	○ダンス 球技Ⅲ ・ハンドボール から1選択	15
1月						
2月	○武道(柔道) 球技Ⅲ ・ソフトテニス	14	○武道(柔道) 球技Ⅲ ・ソフトテニス	14	○武道(柔道) 球技Ⅲ ・ソフトテニス から1選択	14
3月						

<保健分野>

	1学年		2学年		3学年	
1学期	○「心身の機能の 発達と心の健康」	12	○「健康と環境」	16	○「健康な生活と 疾病の予防」	20
2学期			○「障害の防止」			
3学期						

<p>教科担任</p>	<p>主任教諭 技術分野 (室田 恭兵) 家庭分野 (鎌田 悦世)</p>
<p>生徒の実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手先や体を使って作業や実験を行うことが好きな生徒が多い。 ・物の製作や、調理実習が好きな生徒が多い。 ・授業に真面目に取り組み、発言する生徒が多い。 ・経験の希薄さから、材料をうまく加工できない。道具や工具を使いこなすことが出来ない生徒が多い。 ・経験、体験の希薄さより、安全に対しても、自ら予想ができず、思いがけない事故や怪我をする生徒がいる。 ・わからないことがあると自分で課題解決をするのではなく、すぐに教師に頼る生徒もいる。 ・提出物の期日を守って提出できない生徒がいる。
<p>教科の経営目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的・体験的な活動を通して生活に必要な知識・技能の習得や生活を進んで工夫し、創造する能力を育成する。 ・情報化や科学技術の進展等に対応し、生活と技術の関わりや情報手段の活用などの内容を出来る限り多く取り入れ学習内容を工夫する。 ・家庭のあり方や家族の人間関係、子育ての意義などについての内容を充実させる。 ・基礎・基本的な知識・技能の定着を図る工夫を授業に取り入れる。
<p>具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決学習の場を増やし、予想、追及、比較検討、発表する力を育てる。 ・製作題材など生徒の実態にあっているものを考える。 ・体験活動や作業の時間を確保し、基礎・基本を身に付けさせる。 ・技術・家庭科両教師間の連携を深める。 ・補習などを行い、個別指導の充実を図る。 ・授業道具の忘れ物点検や提出物について、粘り強く指導を継続していく。

技術・家庭 年間指導計画

【第1学年】

週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
技術	身の回りを整理する製品を作って身近な生活の問題を解決しよう【28時間】																																		
項目	A (1) アイ (2) アイ (3) アイ																																		
家庭	深めよう 家庭科 2時間	家族とのか かわりから 自分を見つ める 1時間	健康的な食生活を工夫しよう 10時間																												賢く健康的な食事を作ろう 19時間	これから 活への展 望 3時間			
項目	A (1) アイ	A (2) アイ	B (1) アイ (2) アイウ																												B (3) アイウ	B (3) ウ			

【第2学年】

技術	野菜の栽培技術をもとに食糧生産等に 関わる問題を解決しよう【5時間】																																		
項目	B (1) アイ (2) アイ (3) アイ																																		
家庭	自分の衣生活を工夫しよう 18時間	やさしいエネルギー変換の技術を考えよう【20時間】 アイデアをいかした環境に																												インターネット上での情報活用の 利便性や安全性について考えよう 【10時間】	賢い消費者になろう 8時間				
項目	C (1) アイウ	C (3) アイ	C (1) アイ (2) アイ (3) アイ																												D (1) アイ	D (1) アイ			

【第3学年】

技術	安心して使える メッセージ交換アプリを開発しよう 【7時間】	お掃除ロボットのモデル開発を通して 社会的な問題を解決しよう 【10.5時間】																																
項目	D (2) アイ	D (3) アイ D (4) アイ																																
家庭	幼児の成長から自分の成長を見つめよう 16時間	子供の成長から自分の成長を見つめよう 16時間																												これから 活への展 望 1.5時間	全			
項目	A (1) アイ	(3) アイウ	A (2) アイ	(3) アイ	A (3)																													全

道徳教育全体計画

<p>日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 埼玉県中学校教育課程編成要領 指導の重点・努力点 県・市教委重点施策 市民憲章</p>	<p>学校教育目標 夢と理想を掲げ、よりよい社会を創造する西中生</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら考え、創造する生徒 ○ 誠実で思いやりのある生徒 ○ 心身ともに健康な生徒 	<p>◇生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明朗、活発、堅実で前向きな生徒が多い。自立心が育ち、学習意欲が高い。 ・人間関係作り、コミュニケーション能力の育成にやや課題がある。 <p>◇教師の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よいところを認め合い、他人の個性や立場を尊重してほしい。 ・コミュニケーション能力を高め、学び合える力をつけほしい <p>◇保護者の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力をつけ、自分に適した進路選択をしてほしい。 ・心身ともに健康で何事にも意欲的に取り組んで成長してほしい。 <p>◇地域社会の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育に関心が高く、学校に協力しようという雰囲気がある。
<p>校長の道徳教育の方針</p> <p>「考え、議論する道徳科」を中心に、あらゆる教育活動を通して、自己肯定感をもたせ、自己指導能力を身につけさせながら、自他の生命を尊重し、他人を思いやる心を育成していく。(学校経営方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「要」となる道徳科授業の時数確保、指導方法、評価の工夫改善をする。 ○「よりよく生きるため」の道徳教育を西中の教育活動全体を通じて推進する。 		
<p>道徳教育の重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、目標の実現を目指し努力しようとする。 2 誰に対しても思いやりの心を持ち、寛容の心をもって人との関わりを大切にしようとする。 3 一人一人が公正・公平な態度で生活する大切さを理解し、集団生活の充実に努力しようとする。 4 人間として生きるよさを理解し、自他の生命を大切にしようとする。 		
<p>各学年の重点目標</p>		
<p>1学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命の尊さに気づき、自他を大切に行動をとることができる。(D-19) ・互いに励まし合い、成長し合う関係を築くことができる。(B-8) ・周囲に左右されることなく、善悪の判断をすることができる。(A-1) 	<p>2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命の大切さを自覚し、他とのつながりを大切に行動をとることができる。(D-19) ・様々な見方、考え方を受け入れ、認め合うことができる。(B-9) ・自分の行為が及ぼす結果について考え、望ましい行動をとることができる。(A-1) 	<p>3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけがえない命に感謝し、自他の生命を尊重した行動をとることができる。(D-19) ・他者の気持ちに対し、感謝の思いを言動で表すことができる。(B-6) ・自分や社会に対して誠実で、責任をもった行動をとることができる。(A-1)
<p>道徳科 指導方針</p>		
<p>◇各教科 ※別業参照</p> <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章などから他者の見方や考え方を受け止めたり、感動や発見を伝えたりする力を高める。 ・日本文化を学び、継承しようとする態度を育てる。 <p>【社会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員として、主体的に生きる力を育む。 ・我が国や諸外国への興味・関心を持ち、学ぶ態度を養う。 ・地理や歴史の学習を通して日本のよさを学ぶ。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主的に考え、最後まで取り組む態度を育てる。 ・有用性や美しさを感得する。 <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な植物等の観察を通して、自然への畏敬を学ぶ。 ・理科的な現象の疑問や課題を解決する態度を養う。 <p>【音楽】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を通して豊かな情操を育てる。 ・我が国の伝統・文化を尊重し、よさや魅力愛する心を育てる。 <p>【美術】</p>	<p>年間指導計画に基づく計画的・発展的な指導を通して、生徒一人一人の道徳的判断力を高め、道徳的心情を豊かにし、道徳的実践意欲と態度の向上を図る。このことにより人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する。</p> <p>校内推進体制</p> <p>校長の方針の下、道徳推進教師を中心として、全体計画の評価・改善に関わる全教員の共通理解を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月 全体計画、年間計画作成 教科部会 ・4月 全体計画、年間指導計画の決定 学級指導計画作成 教科部会 ・評価についての研修など 道徳の時間の実施 ・各学期ごと 評価・改善 <p>各学年指導方針</p> <p><1学年> 基本的な生活習慣の定着を図り、思いやりの心を大切に</p>	<p>◇総合的な学習の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く、考え・学び・表現する。 ・互いに認め合い、高め合うことの意義に気付く。 ・自分自身を見つめ、自己の生き方を探求する。 <p>◇特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各活動の中で「望ましい集団生活」を展開し、豊かな学校生活を築くとともに、公共の精神を養い、社会性を育成する。 ・いじめ防止のための学校生活づくりのために自己の責任を果たす態度、多様な考え方を認め合って協力する態度、規律を守る態度などを養う。 <p>◇進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解に努め、自分の目標に向けて強い意志をもって粘り強く努力しようとする態度を養う。 <p>◇人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差別の歴史的背景や実態の学習を通して、差別の解消に向けて正しく考え、判断し、行動する態度を育てる。 ・自他を尊重し、人権尊重の精神を育てる。 <p>◇生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活を充実させるための望ましい生活習慣や態度を育てる。

<p>・多様な作品の鑑賞から美しさを感じ取る。</p> <p>・様々な国や文化がもっている美に対する探究心やその違いを感じ取り、理解に努める態度を育てる。</p> <p>【保体】</p> <p>・健康や体力について自己のよさや可能性を理解していくようにする。</p> <p>・自他の生命を尊重し、主体的に心身ともに健康な生活や人間関係を築こうとする態度を養う。</p> <p>【技家】</p> <p>・生活に必要な工夫をし、創造的で、より豊かな生活環境を形成しようとする能力と態度を養う。</p> <p>・健康や生活環境を維持する大切さを理解し、実践力を育てる。</p> <p>【外国語】</p> <p>・外国語の学習を通して、他者を配慮し受け入れる寛容の精神や平和・国際貢献などの精神を獲得し、多面的に考える態度を育てる。</p> <p>・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立ち、世界の平和と人類の幸福に貢献する態度を育てる。</p> <p>【道徳科】</p> <p>・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</p>	<p>ながら、集団生活でのきまりを守るようにする。</p> <p><2学年></p> <p>善悪の正しい判断力を身につけ、自己と他の関わりを考え、周りに感謝の気持ちをもちながら、時と場に応じた振る舞いができるようにする。</p> <p><3学年></p> <p>自分と社会との関わりについて考え、社会の一員としての自覚とともに自分の言動に責任をもたせ、他を理解し、適切な対応ができるようにする。</p> <p style="text-align: center;">来年度にむけての改善点</p>	<p>・生徒理解に努め、生徒との温かな人間関係を築く。</p> <p>・学校や地域の歴史に興味をもち、学校や地域を愛する心を育てる。</p> <p>◇情報モラル</p> <p>・マナーやルールを意識しながら、人間関係を大切にし、自己の言動に責任をもつ態度を養う。</p> <p>◇教育環境の整備</p> <p>・道徳教育を効果的に進め、人間としての生き方についての自覚を深めるための、環境作りに努める。</p> <p>・言語環境の改善に努める。</p> <p>◇ボランティア活動</p> <p>・勤労の尊さや意義を理解し、公共の精神をもって社会に貢献する喜びを感じさせる。</p> <p>◇豊かな体験活動</p> <p>・体験的学習を通して、道徳的実践力を養う。</p> <p>・体験活動を通し、豊かな人間性を育む。</p> <p>◇家庭・地域との連携</p> <p>・相互理解と信頼の上に協力し、連携して子どもの道徳性の育成を図る。</p>
--	--	---

教科経営案

道徳

教科担任	主任教諭 室田 恭兵 (道徳教育推進教師) 部員名 全職員
生徒の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく、活発、堅実で前向きな生徒が多い。 ・自立心が育ち、学習意欲が高いが、発言する生徒が固定化しており、自分の意見を表現する力に欠けている。 ・互いのよさを認め合い、他人の個性や立場を尊重する姿勢に欠ける場面が見られる。 ・人間関係づくりやコミュニケーション能力にやや課題がある。
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳的諸価値についての理解をもとに、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習指導の充実を図る。 ○生徒の成長を認め、励ます評価と、自らの指導に対する評価・改善
具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳的な課題を自分との関わりで捉え、多面的・多角的に考えられるよう指導を工夫する。 ・生徒自らが道徳性を養うことのよさや意義、道徳的価値を実現するための課題や目標について考えることができるよう指導を工夫する。 ・指導のねらいや教材の特質に応じて効果的な指導方法を取り入れる。 ・教科用図書に加え、本県の特徴を活かした「未来に生きる」や「彩の国の道徳」などの地域教材を活用する。 ・生徒の評価は道徳科の学習活動に着目して行い、生徒が自らの成長を実感し、意欲の向上につなげていくことができるようにする。 ・教師自らの指導を評価し、指導の改善・充実に取り組む指導と評価の一体化を目指す。

中学校1年生の道徳年間指導計画一覧表

月	教材名	主題名	ねらい	学習指導要領との関連	教材類型
4月	1. 掃除の神様が教えてくれたこと	働く喜びと充実した生き方の追求	「働く意義」を理解し、働く喜びに気付き、充実した生き方につなげようとする態度を養う。	C 勤労	ノンフィクション
	2. あなたにか	かけがえのない生命	自分が今ここにいることの不思議さや生命の連続性に気付き、かけがえのない存在であることに誇りをもち、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。	D 生命の尊さ	生活文
	14. 父へのメッセージ	限りある大切な命の尊重	人間の生命の有限性やかけがえのなさを理解し、夢や希望をもって前向きに生きようとする態度を育てる。		
	3. 挨拶しますか、しませんか	場に応じた挨拶	様々な環境における挨拶の意義を考え、よりよい挨拶ができる態度を養う。	B 礼儀	生活文
5月	7. マナーは考えなくもいいのか	時と場をわきまえた言動の大切さ	礼儀は相手を人間として尊重する行為であることを理解し、時と場に応じた適切な言動をとろうとする態度を育てる。		
	4. うわさで決めるの？	公正に考えるとは	周りの人たちの噂や、不確実な情報を鵜呑みにせず、自分の頭で考え、真実を見つめる判断力を育てる。	C 公正、公平、社会正義	生活文
	5. あるピエロの物語	信頼と敬愛に支えられた友情	友情は互いの信頼のうえに成り立つこと、相手に対する敬愛の念をもち続けることが大切であることを理解し、友情を培うために自分はどうあればよいかについて判断することができ力を育てる。	B 友情、信頼	物語
	6. 釣りざおの思い出	約束や時間を守る	甘い考えによる、軽はずみな行動の愚かさを理解し、節度ある生活を送ろうとする判断力を育てる。	A 節度、節制	生活文
6月	7. 黒い弁当	かけがえのない家族	成長を願う深い愛情で育てられていることに気付き、父母や祖父母に対する感謝や敬愛の心情を育てる。	C 家族愛、家庭生活の充実	生活文
	24. 「何だっというんだあ」	家族の絆	父母、祖父母の思いを受け止め、家族の一員として充実した家庭生活を築こうとする態度を養う。		
	8. バスと赤ちゃん	相手の立場に立った支え合い	心のこもった言葉には温かい交流をつくる力があることに気付き、支え合い響き合う思いやりの心情を育てる。	B 思いやり、感謝	ノンフィクション
	12. ピースサイン	感謝の心	まわりの人を支え、支えられながら現在の自分があることに感謝し、その感動や喜びを素直に表現し、心の絆を大切にしようとする態度を育てる。		
	9. 裏庭での出来事	誠実な生き方	責任ある行動とは自ら考え、判断し、実行することであることを気付き、自ら判断できる力を育てる。	A 自主、自律、自由と責任	生活文
	10. 壊れた掲示板	郷土や地域を愛するとは	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、地域に住む人々とともに郷土の発展に努めようとする心情を育てる。	C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	生活文

7月	11. 西山先生へ	最後までやり抜く力	困難や失敗に負けることなく、自分で決めた目標に向かって、強い意志で最後までやり抜こうとする心情を育てる。	A 希望と勇氣、克己と強い意志	手紙
	3. 心の涼風	目標を目指し、着実にやり抜く強い意志	より高い目標を目指し、希望と勇氣をもって着実にやり抜こうとする態度を育てる。		
	12. いっぱい生きる 全盲の中学校教師	希望をもち、前向きに生きる	困難や挫折を乗り越え、人間としての誇りをもって、前向きに生きようとする意欲を高める。	D よりよく生きる喜び	ノンフィクション
9月	13. 真の国際人 嘉納治五郎	自らの役割を果たす日本人	世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする心情を育てる。	C 国際理解、国際貢献	伝記
	14. ネット将棋	自分の行動に責任を	自ら選択したどんな小さな行為にも責任があることを認識し、望ましい行動を選択する判断力を育てる。	A 自主、自律、自由と責任	生活文
	15. 夏の思い出	自然を愛しともに生きる	身近な自然の存在に気付き、その美しさに感動して、かけがえのない自然を守ろうとする心情を育てる。	D 自然愛護	生活文
	16. キャッチ アンド リリース	法やルールは何のため	社会の中の法やさまじの意義を理解し、社会の秩序と規律を守ろうとする判断力を育てる	C 遵法精神、公德心	生活文
	20. 次は清掃登山に挑戦だ	住みよい社会や環境と積極的な社会参画	社会生活を営む上で必要とされている約束やまきを重んじ、住みよい社会を築くために、社会の一員として積極的に協力していくようとする態度を育てる。		
10月	17. 日曜日の朝に	心の弱さを乗り越える	自分の軽はずみな行動が招く危険や周りへの迷惑に対して、十分配慮し、節度をわきまきようとする判断力を育てる。	A 節度、節制	生活文
	18. 金色の稲穂	人の善意に感謝する心	物事がうまくいかないことを他人や仕事のせいにしてしがちな自分を戒め、多くの人々の善意や支えで今の生活があることに感謝し、それに応えようとする心情を育てる。	B 思いやり、感謝	生活文
	19. たとえ僕に明日はなくなるとも	輝かせる命	生きることの尊さ・素晴らしさに気付き、かけがえのない生命を輝かせようとする実践意欲を高める。	D 生命の尊さ	ノンフィクション
	8. 命、今生きていること	気高く前向きに生きる	人間の生命の有限性やかけがえのなさを理解し、夢や希望をもって前向きに生きようとする態度を育てる。		
	20. 町内会デビュー	望ましい地域社会	地域の一人としての自覚をもち、住みよい地域社会の実現を目指そうとする実践意欲を高める。	C 社会参画、公共の精神	生活文
11月	21. ふと目の前に 森繁久彌	相手の心を広く受けとめる	それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの方や考え方があることを理解し、寛容な心をもち、謙虚に他に学ぼうとする心情を育てる。	B 相互理解、寛容	エッセイ
	22. ネパールのビール	誠意ある行為の美しさ	人間の誠意ある生き方や良心の高さに感動し、人間として誇りをもって生きようとする心情を育てる。	D よりよく生きる喜び	ノンフィクション

	23. 公平とはなんだろう	誰にとっても公平な社会	公平な社会を作るために、物事の是非を見極め、積極的に差別や偏見をなくそうとする態度を養う。	C 公正、公平、社会正義	生活文
	24. 自然の懐に抱かれて	自然の美しさに感動する心	自然の美しさに感動する心をもち、自然と共存することで人生をより豊かなものにしていくようとする態度を養う。	D 感動、畏敬の念	エッセイ
	25. 伝統を伝説に	仲間と共に	部活動や学級、学校の一員としてお互いに支え合っていることに気づき、教師や学校を敬愛し、協力してよりよい校風を樹立しようとする態度を養う。	C よりよい学校生活、 集団生活の充実	生活文
12月	26. クラスメイト	相手のよさを認め合う	異性間においても、同性間と同様に相手のものの見方や考え方を理解し、互いに相手のよさを認め合おうとする態度を養う。	B 友情、信頼	生活文
	27. 日本の心と技	世界の中での日本文化のすばらしさ	日本の伝統文化の良さを多面的に捉え、日本の伝統文化を深め伝えようとする態度を養う。	C 我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度	写真資料
	28. イチローの軌跡	夢の実現	夢や希望、目標に向かって努力を惜しまず、自分の力を大きく伸ばし、夢を実現しようとする態度を養う。	A 向上心、個性の伸長	ノンフィクション
	6. きらめけ ぼくだけの音色 ^彩	自分を探そう	社会の中に生きる一人として自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。		
1月	29. 認められたグラフ	続ける努力	高い理想を求め、実現しようという志をもち、自分を甘やかさず努力を継続しようとする態度を養う。	A 希望と勇気、 克己と強い意志	ノンフィクション
	30. 吾一と京造	友情を深めるために	友情のあり方について様々な角度から考えを深め、より一層深い友情を構築しようとする態度を養う。	B 友情、信頼	物語
	31. 傘の下	公德を大切にする心	社会の中で守るべき正しい道として公德の意義を理解し、住みよい社会を実現しようとする判断力を育てる。	C 遵法精神、公德心	生活文
2月	32. ロボット研究	未来の世界を創るために	挫折を乗り越え、好奇心をもって学び、工夫して新しいものを創造していかようとする態度を養う。	A 真理の探究、創造	ノンフィクション
	33. 明かりの下の燭台	集団の中の一員として	集団の中で一人ひとりが、個性を生かし、集団の中で何をすべきかを考え、動こうとする実践意欲を高める。	C よりよい学校生活、 集団生活の充実	ノンフィクション
	34. 捨て犬・未来	尊い命	生きていることの素晴らしさに気づき、生きとし生けるものの生命を大切にしようとする心情を育てる。	D 生命の尊さ	ノンフィクション
3月	35. エルトゥール号の遭難	人類の発展に貢献する	日本人としての誇りをもって、同じ人間として尊重しあい、世界の平和と人類の発展に貢献する実践意欲を高める。	C 国際理解、国際貢献	ノンフィクション

* 教材名・主題ごとくに、・ねらい・学習指導要領との関連・教材類型を表記しています。

* 「学習指導要領との関連」は内容項目4つの視点「A 主として自分自身に関すること」「B 主として人との関わりに関すること」「C 主として集団や社会との関わりに関すること」「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を示しています。

* 教材名の前の数字は、教科書の教材番号を示しています。

* 中学校学習指導要領の内容項目が教科書と同じ「彩の国の道徳」及び「心の絆」の資料を、破線 ----- で区切り併記しています。

中学校2年生の道徳年間指導計画一覧表

月	教材名	主題名	ねらい	学習指導要領との関連	教材類型
4月	1. 鳥のように空を飛びたい 高梨沙羅	たゆまぬ努力	たゆまぬ努力とそれを支える規則正しい生活習慣が、素晴らしい結果の礎であることに気付き、充実した生活を送ろうとする実践意欲を高める。	A 節度、節制	ノンフィクション
	2. 旗	人を思いやる心	他者の立場を尊重しながら親切にし、いたわり励ます生き方のすばらしさに気付き、互いに他を思いやる心情を育てる。	B 思いやり、感謝	物語
	8. 母の誘い 彩	人間らしい心の営み	人間尊重の精神に基づき、他者の状況や立場を推し量りながら、思いやりの心をもって人のために尽くそうとする態度を育てる。		
5月	3. ごみ収集場所をどこに	法やルールはなぜ必要	法や決まりの意義を理解し、法やきまりに積極的に関わり、それらを積極的に守ろうとする判断力を育てる。	C 遵法精神、公德心	生活文
	4. ソムチャイ君の笑顔	差別や偏見のない公平な心	誰に対しても公正・公平に接することの大切さについての自覚を深め、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする心情を育てる。	C 公正、公平、社会正	生活文
	5. コスモスR計画	自然環境の大切さ	自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、地球環境の保護に努めようとする実践意欲を高める。	D 自然愛護	漫画
6月	6. 美しい母の顔	深い愛情で結ばれている家族	かけがえない存在として家族の深い愛情によって育てられていることに感謝し、充実した家庭生活を築こうとする心情を育てる。	C 家族愛、家庭生活の充実	生活文
	7. サキとタク	幸せを願う友情	悩みや葛藤を乗り越え、相手に対する理解を深め合うとともに、相手を尊敬し、幸せを願う心情を育てる。	B 友情、信頼	生活文
	8. ヨコスカネイビーパーカー	社会の発展を願う心	自分の住む地域社会への認識を深め、その発展に貢献しようとする実践意欲を高める。	C 社会参画、公共の精神	ノンフィクション
7月	9. 蹴り続けたボール	謙虚に学ぶ	物事にはいろいろな立場や意見があることに気付かせ、自分の考え方や感じ方がすべてではなく、謙虚な心を持ち、広い心で他に学び、前向きに生きていこうとする心情を育てる。	B 相互理解、寛容	エッセイ
	11. 入試の朝 彩	謙虚に学ぶ	自己の視野を広め、人生をより豊かにするために、自分と異なる考えや立場を尊重しようとする寛容な態度を育てる。		
	10. ジャッジとチャレンジ	自分らしく生きる	自己を見つめ、現状に甘んじることなく、向上心を持ち、自分自身が納得できる人生を送ろうとする態度を養う。	A 向上心、個性の伸長	ノンフィクション
7月	11. 三度目の号泣	集団の中での役割	集団における自己の役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努めようとする態度を養う。	C よりよい学校生活、集団生活の充実	エッセイ
	22. 初の全国制覇 彩	集団の目標を達成するために	自分の役割と責任を自覚し、集団の目標を達成するために協力し合い、集団を高めていこうとする態度を養う。		

9 月	10 月	11 月		
12. そこにいてるだけでいい	生まれることの意味	生まれること、生きていることの意味について考え、自他の生命を尊重しようとする心情を育てる。	D 生命の尊さ	エッセイ
13. 父との約束	責任ある自律した生き方	自らの行為や行動が周囲にどのような影響を与えるのか理解し、自らを律して責任ある行動をとろうとする実践意欲を高める。	A 自主、自律、自由と責任	エッセイ
14. あるレジ打ちの女性	勤労の意義	勤労の意義を理解し、勤労を通して生きがいのある人生を実現しようとする実践意欲を高める。	C 勤労	物語
23. ぼくの職場体験活動 彩	勤労の意義・奉仕活動	勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって公共の福祉と社会の発展に努める態度を育てる。		
15. 尾高惇忠が目指した富岡製糸場	自分を支える気持ち	目標の達成を目指し、前向きな考えをもち、現実をより良くしようとする実践意欲を高める。	A 希望と勇氣、克己と強い意志	伝記
16. キャッチボール	公徳心に支えられた社会	法や決まりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、社会の中で守るべき正しい道としての公徳の心を大切にしようとする判断力を育てる。	C 遵法精神、公徳心	生活文
18. 上級学校を訪ねて 彩	法の精神・人権感覚	さまざまなルールを守ることの意義を自覚し、積極的に社会の秩序と規律を高めようとする態度を育てる。		
17. 星置きの滝	友情の尊さ	相手の内面的なよさを発見し、共に成長し合う関係を築きながら、生涯にわたって尊敬と信頼に支えられた友情を育てようとする態度を養う。	B 友情、信頼	エッセイ
9. メリー・ウインドゥ・セレクシヨン 彩 絆	感謝の気持ち	多くの人々の善意や支えにより日々の生活が成り立っていることに感謝し、自分もこたえていこうとする心情を育てる。		
18. プラック・ジャック ふたりの黒い医者	生命の尊厳	生命の尊厳について深く考え、かけがえない自他の生命を尊重し、よりよく生きようとする心情を育てる。	D 生命の尊さ	漫画
19. ヒト・iPS細胞を求めて山中伸弥	真理への挑戦	疑問や問いを探究し続けることが、新たな見方、考え方の発見や創造につながることに気付き、それを自分の生き方に生かそうとする実践意欲を高める。	A 真理の探究、創造	ノンフィクション
20. 言葉の向こうに	寛容の心をもつ	それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち、謙虚に他に学ぼうとする心情を育てる。	B 相互理解、寛容	生活文
21. 危険地帯から実りの土地へ	世界の中の日本人としての自覚	国際的視野に立って、国境を越えてつながり、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする態度を養う。	C 国際理解、国際貢献	ノンフィクション
22. リンゴが教えてくれたこと	自然の中でともに生きる	人間が、自然の中で生かされていることに気付き、自然を尊び、自然を愛護しようとする態度を養う。	D 自然愛護	ノンフィクション
23. 未来から来たおじいさん	住みよい社会の実現	社会で起こっている様々な問題に目を向け、自分たちが生きていくためにどのような行動をするべきか判断する力を育てる。	C 社会参画、公共の精神	生活文
24. 足袋の季節	人間として気高く生きる	人間には自らの弱さや醜さを克服しようとする強さがあることに気付き、自分に誇りをもち、人間として気高く生きていこうとする心情を育てる。	D よりよく生きる喜び	物語

12月	25. ものづくり	探究心を形にする	学問や科学技術に貢献した人々の探究心を支えたものについて考えることで、工夫してよりよいものを創造していくこうとする態度を養う。	A 真理の探究、創造	ノンフィクション
	26. 校門を掘る子	愛校心をもって	自分の学校を愛し、誇りをもち、より良い校風を継承していくこうとする意欲を高める。	C よりよい学校生活、集団生活の充実	エッセイ
	27. 厳かなるもの	自然の中で生かさされている人間	自然と人間との関わりについて考えを深め、美しいものや気高いものに感動することで人生をより豊かなものにしていくこうとする態度を養う。	D 感動、畏敬の念	写真資料
1月	28. 黒蜘蛛の元次	自律した生活のよさ	二つの生き方を比較する学習を通して、自ら規律を課して行動することのよさを認識し、自律した生活を選択しようとする判断力を育てる。	A 自主、自律、自由と責任	物語
	29. 償い	人間としての誠意と誇り	人間としての誇りを失わず、過ちや罪に対して、精一杯の誠意をもって生きていくこうとする態度を養う。	D よりよく生きる喜び	詩
	30. 金閣再建 黄金天井に挑む	日本が誇る伝統や文化の継承	我が国の伝統文化の素晴らしさを理解し、後世に受け継いでいくためにできることを考え、継承しようとする実践意欲を高める。	C 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	ノンフィクション
	27. 日本人として 彩	母国よさを伝える	世界の舞台で活躍する日本人の生き方や優れた伝統や文化のよさについての自覚をもって新しい文化の創造と社会の発展に努めようとする態度を育てる。		
	31. お通夜のこと	心と形が伴った礼儀	心と形が整うことが礼儀の基本であることを理解し、その場に応じた適切な礼儀ができる判断力を育てる。	B 礼儀	生活文
2月	32. 絶やしてはならない 緒方 洪庵	かけがえのない自他の生命	自他の生命を尊重した生き方について考えることを通して、かけがえない生命を尊重しようとする心情を育てる。	D 生命の尊さ	伝記
	33. 五色桜	郷土に尽くす	郷土や社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を誇りに思い、進んで郷土の発展に努めようとする心情を育てる。	C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	ノンフィクション
	34. 備えあれば	安全な生活	日頃から想定できない自然災害への対応を考え、安全で調和のある生活のために、緊急の際に的確な判断ができる力を育てる。	A 節度、節制	資料
3月	1. 父の一言 彩	規律ある生活	望ましい生活規律を身に付けることが、人としての成長にも深く関わっていることに気付き、自ら進んで規律ある生活を身に付けていくこうとする態度を育てる。		
	35. 声援を力に 第七十二代横綱 稀勢の里	多くの支援を糧として	何事もうまくいかず、挫折しそうな自分を支えてくれる多くの人々に感謝し、それに応えようとする心情を育てる。	B 思いやり、感謝	ノンフィクション

※(1) 教材名・主題名ごとに、・ねらい・学習指導要領との関連・教材類型を表記しています。

※(2) 「学習指導要領との関連」は内容項目4つの視点「A 主として自身自身に関すること」「B 主として人との関わりに関すること」「C 主として集団や社会との関わりに関すること」「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を示しています。

※(3) 教材名の前の数字は、教科書の教材番号を示しています。

※(4) 中学校学習指導要領の内容項目が教科書と同じ「彩の国の道徳」及び「心の絆」の資料を、破線-----で区切り併記しています。

中学校3年生の道徳年間指導計画一覧表

月	教材名	主題名	ねらい	学習指導要領との関連	教材類型
4月	1. 三十点の金メダル	自分らしさの発揮	自分らしさを発揮して能力を伸ばし、前向きに物事に取り組むことで、充実した生き方をしようとする実践意欲を高める。	A 向上心、個性の伸長	ノンフィクション
	2. 「ありがとう。」の不思議な力	心をつなぐありがとう	「ありがとう」と言われ心と思いを手掛かりとし、相互に相手思いややる心情を育てる。	B 思いやり、感謝	詩
	13. 忘れていたこと 彩	感謝の心	まわりの人々の善意や支えがあって今の自分があることに感謝し、それに素直に応えようとする態度を育てる。		
5月	3. 独りを慎む	望ましい生活習慣	つらい気を抜きがちな日常生活の中で、自ら節度を守り節制することの大切さに気付き、望ましい生活習慣を身に付けるための判断力を育てる。	A 節度、節制	エッセイ
	4. 国際協力師 山本敏晴	人類の幸福を願う心	国際的な視野に立って、国際社会の中での日本人としての自覚をもち、世界平和と人類の幸福に貢献しようとする実践意欲を高める。	C 国際理解、国際貢献	ノンフィクション
	28. 私の人生を変えたエチオピア 彩	国際理解	地球上に住む同じ人間として、他国の人々を尊重し、世界の平和と人類の幸福のために貢献しようとする態度を育てる。		
	5. 余命ゼロ 命のメッセージ	支え合う命	かけがえのない自他の生命の大切さを自覚し、前向きに生きていこうとする心情を育てる。	D 生命の尊さ	ノンフィクション
	6. 礼儀って何	場に応じた礼儀	礼儀の意義を理解し、その場に応じた礼儀について話し合い、深め、状況に応じた礼儀を考えられる判断力を育てる。	B 礼儀	生活文
6月	7. 二人の弟子	人間としての誇りと真価	自己の弱さや醜さに向き合い、それを克服しようとする強さや気高さがあることに気付き、人間として誇りある生き方をしようとする態度を養う。	D よりよく生きる喜び	物語
	8. インターネットと共に	規律ある住みよい社会	法やきまりの意義を理解し、情報社会や社会生活の中で、自分の義務を果たすことで、規律ある安定した社会をつくろうとする判断力を育てる。	C 遵法精神、公德心	漫画
	9. 思い出のオムライス	誠実な心と責任ある態度	正しい判断を選択し行動することに価値があることを理解し、良心的な生き方を選択しようとする判断力を育てる。	A 自主、自律、自由と責任	エッセイ
	4. 私たちの初詣 彩	誠実に行動する	他人の言動に左右されることなく、自主的に考えて判断し、誠実に実行してその結果に責任をもとうとする態度を育てる。		
7月	10. 私たちの夏	共に成長し合って	異性間においても、相手に対する理解を深め、信頼と敬愛の念を育み、互いに高め合える関係を築こうとする態度を養う。	B 友情、信頼	生活文
	11. 笛	互いの立場の尊重	自分と異なる考えや立場を受け止め、相手の多様な見方、考え方から学びながら、自分に生かし、協同して問題を解決していこうとする判断力を育てる。	B 相互理解、寛容	物語

9 月	10 月	11 月	
12. ねぶたを夢見て	郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、伝統文化を継承し、郷土の発展に努める心情を育てる。	郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、伝統文化を継承し、郷土の発展に努める心情を育てる。	C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 マンガ
13. 電車の中で	思いやりある行動をとるとき心の動きを考え、相手の立場に立つて温かく接していかうとする心情を育てる。	思いやりある行動をとるとき心の動きを考え、相手の立場に立つて温かく接していかうとする心情を育てる。	B 思いやり、感謝 漫画・生活文
14. 町工場から宇宙へ	困難に負けずに、自由な発想と想像力で新しいものを創造しようとする心情を育てる。	困難に負けずに、自由な発想と想像力で新しいものを創造しようとする心情を育てる。	A 真理の探究、創造 マンガ
15. はるかなる生命の物語	悠久の自然に思いを馳せ、有限な存在としての人間を自覚し、自然への畏怖の念や感動する心情を育てる。	悠久の自然に思いを馳せ、有限な存在としての人間を自覚し、自然への畏怖の念や感動する心情を育てる。	D 感動、畏敬の念 マンガ
16. 旧芝川の再生を願って	自然の生命を感じ取り、自然と心のつながりを見いだして、共に生きようとする態度を育てる。	自然の生命を感じ取り、自然と心のつながりを見いだして、共に生きようとする態度を育てる。	
16. 一冊のノート	家族との関わりや、家族の在り方について考えを深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築こうとする心情を育てる。	家族との関わりや、家族の在り方について考えを深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築こうとする心情を育てる。	C 家族愛、家庭生活の充実 生活文
17. 二人のエース	互いに相手のよさを認め合い、支え合い、競い合い、高め合う友情を育てようとする態度を養う。	互いに相手のよさを認め合い、支え合い、競い合い、高め合う友情を育てようとする態度を養う。	B 友情、信頼 マンガ
18. 傾民を愛した名君上杉鷹山	自主自律した行動には責任を伴うことを理解し、私利私欲を交えることなく誠実に生きようとする態度を養う。	自主自律した行動には責任を伴うことを理解し、私利私欲を交えることなく誠実に生きようとする態度を養う。	A 自主、自律、自由と責任 伝記
19. 二通の手紙	法やきまの意義を理解し、自らの義務を果たすことで、よりよい社会をつくらうとする態度を養う。	法やきまの意義を理解し、自らの義務を果たすことで、よりよい社会をつくらうとする態度を養う。	C 遵法精神、公德心 物語
20. 忘れられないご馳走	生きとし生けるものの生命の尊さに気付き、生命は他の生命によって生かされていることに感謝しようとする心情を育てる。	生きとし生けるものの生命の尊さに気付き、生命は他の生命によって生かされていることに感謝しようとする心情を育てる。	D 生命の尊さ エッセイ
21. 私たちの合唱コンクール	集団としての目標や意義を理解し、集団の在り方について考え、集団生活の向上に努める態度を養う。	集団としての目標や意義を理解し、集団の在り方について考え、集団生活の向上に努める態度を養う。	C よりよい学校生活、集団生活の充実 生活文
25. 日本一美しい学校に	学校や学級の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風をつくらうとする態度を育てる。	学校や学級の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風をつくらうとする態度を育てる。	
22. どうして?	それぞれの個性や立場を尊重し、互いの良さを認め謙虚に学び合い、高め合おうとする態度を養う。	それぞれの個性や立場を尊重し、互いの良さを認め謙虚に学び合い、高め合おうとする態度を養う。	B 相互理解、寛容 生活文
23. 便利なスマホ 使い方次第	日常生活の一部となった情報機器への過度の依存で生活のリズムを崩すことの危険性を認識し、節度を守り効果的に活用するための適切な判断力を育てる。	日常生活の一部となった情報機器への過度の依存で生活のリズムを崩すことの危険性を認識し、節度を守り効果的に活用するための適切な判断力を育てる。	A 節度、節制 生活文
24. 足元からできること	世界の中の日本人としての役割と責任を自覚し、相互に尊重し合う中で、よりよい国際社会を築こうとする実践意欲を高める。	世界の中の日本人としての役割と責任を自覚し、相互に尊重し合う中で、よりよい国際社会を築こうとする実践意欲を高める。	C 国際理解、国際貢献 生活文
25. 卒業文集最後の二行	正義と公平さを重んじ、自分の弱さを認めつつも、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない世界の実現を願う心情を育てる。	正義と公平さを重んじ、自分の弱さを認めつつも、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない世界の実現を願う心情を育てる。	B 公正、公平、社会正義 エッセイ

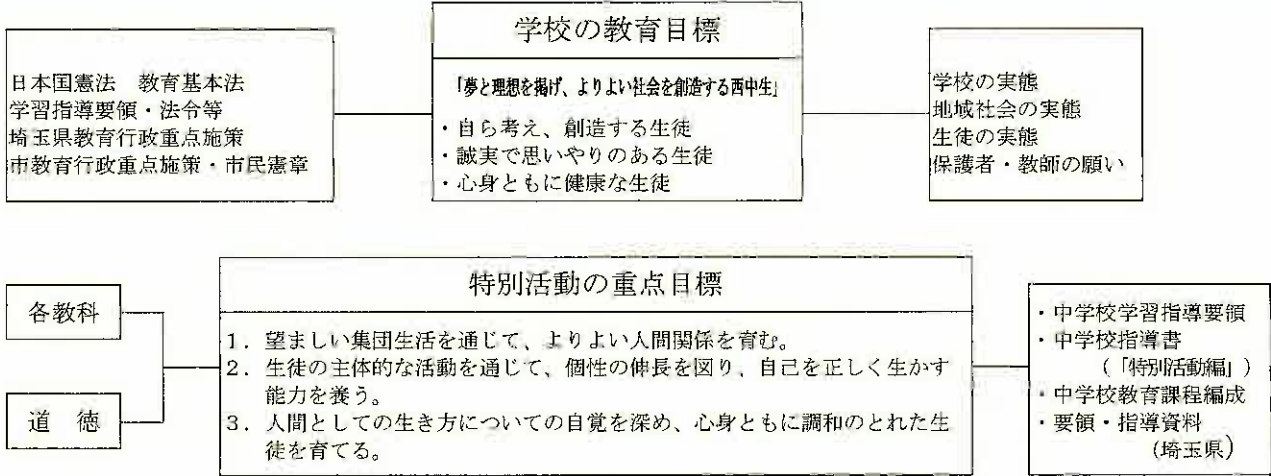
12月	地域に根付いた文化の継承	伝承を継承するために必要な心持ちについて考え、自分たちが住む地域の伝統を守り続けたいと思う心情を育てる。	C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	ノブイグジョン	
1月	26. 白川郷に魅せられて	地域に根付いた文化の継承	伝承を継承するために必要な心持ちについて考え、自分たちが住む地域の伝統を守り続けたいと思う心情を育てる。	C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	ノブイグジョン
	27. 未来の日本へビデオ	よりよい社会の実現	選挙に参加することを通し、自らの意思を社会に反映させ、よりよい社会の実現に向けて自ら実践することを考えようとする判断力を育てる。	C 社会参画、公共の精神	生活文
	28. 正確な日本地図の追究 伊能忠敬	真理を求めて生きる	真理を求めて、真理を探究した人の生き方を支えたものについて考え、それを自分の生き方に生かそうとする実践意欲を高める。	A 真理の探究、創造	伝記
	5. 縦糸と横糸一秩父銘仙を受 け継ぐー ^彩	伝統・郷土	自分の人生をかけて実現すべき価値を見いだし、挫折や失敗を乗り越えて理想の実現をめざして自己の人生を切り開こうとする態度を育てる。		
	29. あなたの命は誰のもの	自他の生命の尊重	科学技術や医療の急速な進歩の中、決して軽々しく扱われるべきではない生命の尊さについて考えさせ、自他の生命を尊重する態度を養う。	D 生命の尊さ	資料
2月	15. 命のタスキ ^彩	生命の有限性	生命の有限性やかけがえのなさを理解し、この世に誕生したことを喜び、自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。		
	30. 地球の未来のために	自然環境の保護	自然環境を大切にすることの意義を理解し、地球環境の保護や地球温暖化の防止について必要なことは何かを考えられる判断力を育てる。	D 自然愛護	ノブイグジョン
	31. 五井先生と太郎	温かい人間愛	思いやりや心の根底には他者への深い理解と共感があることに気づき、温かい人間愛の精神を深めようとする心情を育てる。	B 思いやり、感謝	物語
	32. スポーツの力 佐藤真海	立ち向かう勇気	強い意志の力で自分の弱さに打ち勝ち、困難を乗り越えようとする実践意欲を高める。	A 希望と勇気、克己と強い意志	ノブイグジョン
	2. ドクトル本多の誕生 ^彩	偉人（本多静六）	時には挫折や思い通りにならないこともあるが、より高い目標を目指し希望と勇気をもって着実にやり抜く態度を育てる。		
3月	33. 「血の通った義足」を作りたい	勤労を通しての社会貢献	勤労の意義を理解し、働くことを通して社会に貢献できること自覚し、自らも実践しようとする意欲を高める。	C 勤労	ノブイグジョン
	34. 杉原千畝の選択	世界の平和に貢献する	人間の存在や価値についての理解を深め、世界平和に貢献する行動を自らとるための判断力を育てる。	C 国際理解、国際貢献	伝記
	35. 亡き母へのトラランペット	気高く、前向きに生きる	生きていく上で辛いことや苦しいことから逃げず、それを克服する力があることを信じ、人間としての誇りや喜びをもって力強く生きていこうとする意欲を高める。	D よりよく生きる喜び	ノブイグジョン

※(1) 教材名・主題名ごとに、・ねらい・学習指導要領との関連・教材類型を表記しています。

※(2) 「学習指導要領との関連」は内容項目4つの視点「A 主として自分自身に関すること」「B 主として人との関わりに関すること」「C 主として集団や社会との関わりに関すること」「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を示しています。

※(3) 教材名の前の数字は、教科書の教材番号を示しています。

※(4) 中学校学習指導要領の内容項目が教科書と同じ「彩の国の道徳」及び「心の絆」の資料を、破線-----で区切り併記しています。



1年の指導の重点	2年の指導の重点	3年の指導の重点
1. 自己実現の基礎を身につけさせる。 2. 集団生活のあり方を学ばせる。 3. 自主的実践的な態度を育てる。	1. 問題解決の方法を身につけさせる 2. 集団活動を通じて、協調の精神を養う。 3. 自己の役割を自覚させる。	1. 意欲的に実践する。 2. リーダーとしての資質を育てる。 3. 適切な進路選択の能力をつける。



令和6年度 学級活動年間指導計画

1 学年

月	題材	ね ら い	重点等
4	中学生となって 学級の組織づくり 充実した中学生生活	新しい中学校生活について理解し、生活への希望を持つ 学級の活動組織や係等を決める 中学校の生活についてのあらましを知る	発表活動
5	計画的な学習 健康な生活を考えよう	学習方法の工夫を考える 健康の大切さを理解し、健康な生活の在り方を考える	話し合い活動
6	望ましい教室環境 活発な学級生活 進路学習と将来の希望	教室内の環境美化を考える 学級生活を振り返り、その改善点考える 進路学習の内容を理解し、将来の希望を語り合う	話し合い活動 話し合い活動
7	自己理解1 1学期の反省 夏休みの過ごし方	自分の長所や短所を知ることにより、自分の個性の理解を促す 生活や学習を振り返り、今後の生活を考える 夏休みの意義と過ごし方について考える	話し合い活動
9	夏休みの反省 ボランティア活動 音楽会に向けて	夏休みを反省し、2学期の心構えをする ボランティア活動などの社会奉仕の精神が持てる 素晴らしい合唱にするため、クラスでの取り組みを考える	発表活動 話し合い活動
10	進んで参加する体育大会 体育大会の準備をしよう 働く人々 落ち着いた学習をしよう	体育大会の意義を理解し、積極的に参加する意欲を持つ 学級の協力と団結を目指し、参加への意欲を持つ 身近に働く人々の様子に着目し、職業への関心を持つ 行事が終わって、学習をもう一度見直す。	話し合い活動 調査活動
11	心と体の発達 薬物等の危険性 級友のよさを知る 学級の諸問題の解決	悩みは誰でもあることを理解し、積極的に解決する態度を育てる タバコや覚せい剤などについての実態とその害を知る 級友のよさを理解し、信頼関係を築く 学級生活の問題点を進んで理解し、解決する	話し合い活動 話し合い活動
12	スキー学校に向けて 2学期の反省 冬休みの過ごし方	スキー教室の意義を考え、準備をする 2学期を振り返り、今後の生活を考える 冬休みの意義と、充実した冬休みの過ごし方について考える	話し合い活動
1	冬休みの反省 部活動を見直そう 不得意科目の征服	冬休みを反省し、3学期の心構えをする 部活動への参加態度を振り返り、今後の活動に意欲を持たせる 不得意科目を積極的に解決する態度を見直す	発表活動 話し合い活動
2	性の目覚めと成長 進路計画の作成 3年生を送る会の準備	人間らしい思春期の生き方を自覚する 自分の進路計画を実際に立ててみる 3年生を送る会の成功に向け、その準備を考える	調査活動
3	学級生活のまとめ 春休みの過ごし方	1年間の学級生活を反省し、進級する心構えを持つ 春休みの意義を理解し、その過ごし方を考える	話し合い活動

令和6年度 学級活動年間指導計画

2学年

月	題材	ね ら い	重点等
4	2年生になって 学級の組織づくり 学級の計画	2年生の生活のあらましを理解し、生活への意欲を持つ 学級の活動組織や係等を決める 活動意欲を高める年間計画を作る	発表活動
5	計画的な学習 興味と適正 生徒総会に向けて	学習方法の工夫を考える 自己理解の方法や観点を知り。進路との関連を考える 生徒会活動を理解し、学校生活向上について考える	話し合い活動 調査活動
6	望ましい教室環境 自転車と交通安全 活発な学級生活 働きながら学ぶ	教室内の環境美化を考える 自転車走行の危険性を考え、安全な走行の仕方を理解する 学級生活を振り返り、その改善点を考える 働くこと、学ぶことの意義と目的について考える	話し合い活動
7	学級新聞づくり 職業の世界 1学期の反省 夏休みの過ごし方	班の協力意識を高め、より良い集団の育成を目指す 職業と産業の分類について調べる 生活や学習を振り返り、今後の生活を考える 夏休みの意義と過ごし方について考える	調査活動 話し合い活動
9	夏休みの反省 音楽会に向けて	夏休みを反省し、2学期の心構えをする 素晴らしい合唱にするため、クラスでの取り組みを考える	発表活動 話し合い活動
10	落ち着いた学習をしよう 学ぶための機会 進んで参加する体育大会 体育大会の準備をしよう	行事が終わって、学習をもう一度見直す 上級学校についての特色について考える 体育大会の意義を理解し、積極的に参加する意欲を持つ 学級の協力と団結を目指し、参加への意欲を持つ	話し合い活動 調査活動
11	薬物の恐ろしさ 青少年の非行 学習と部活の両立 心を結ぶボランティア	タバコや覚せい剤などについての実態とその害を知る 最近の青少年の非行の実態と、その原因について考える 両方が大切なものと理解し、両立させる方法を考える ボランティア活動に積極的に関わろうとする態度を持つ	調査活動 話し合い活動
12	2学期の反省 冬休みの過ごし方	2学期を振り返り、今後の生活を考える 冬休みの意義と、充実した冬休みの過ごし方について考える	話し合い活動
1	冬休みの反省 職場体験に向けて 部活動を見直そう 学習計画の見直し	冬休みを反省し、3学期の心構えをする 働くことの意義を考え、準備をする 部活動への参加態度を振り返り、今後の活動に意欲を持たせる 学習上の悩みを出し合い、共通の問題として理解する	発表活動 話し合い活動
2	性の欲求と行動 進路計画の立案 3年生を送る会の準備	性の欲求と望ましい行動について考える 自分の希望する職業について、具体的に調べる 3年生を送る会の成功に向け、その準備を考える	調査活動
3	学級生活のまとめ 春休みの過ごし方	1年間の学級生活を反省し、進級する心構えを持つ 春休みの意義を理解し、その過ごし方を考える	話し合い活動

令和6年度 学級活動年間指導計画

3 学年

月	題材	ね ら い	重点等
4	3年生になって 学級の組織づくり 学級の計画 修学旅行に向けて	最上級生としての役割や立場を理解する 学級の活動組織や係等を決める 活動意欲を高める年間計画を作る 修学旅行の目的・意義を考え、準備をする	発表活動 話し合い活動 調査活動
5	計画的な学習 有意義な修学旅行 生徒会を見直そう	学習方法の工夫を考える 修学旅行の成功への意欲を持つ 望ましい生徒会活動のあり方について考えさせ、自覚をもつ	調査活動 話し合い活動
6	望ましい教室環境 生命の継承 活発な学級生活 進路選択にそなえて	教室内の環境美化を考える 受精や遺伝の仕組みを知り、生命の継承を理解する 学級生活を振り返り、その改善点を考える 進路選択に必要な条件を具体的に理解する	発表活動 話し合い活動
7	将来の生き方を考える 1学期の反省 夏休みの過ごし方	自己の将来への展望をもたせ、進路学習の基本とする。 生活や学習を振り返り、今後の生活を考える 夏休みの意義と過ごし方について考える	話し合い活動
9	夏休みの反省 青年期の悩みと解決 音楽会に向けて	夏休みを反省し、2学期の心構えをする 青年期で、心身の発達における悩みの解決策を考える。 素晴らしい合唱にするため、クラスでの取り組みを考える	発表活動 話し合い活動
10	進んで参加する体育大会 体育大会の準備をしよう 落ち着いた学習をしよう 自分についてのまとめ 進路先を調べよう	体育大会の意義を理解し、積極的に参加する意欲を持つ 学級の協力と団結を目指し、参加への意欲を持つ 行事が終わって、学習をもう一度見直す 進路選択にあたり、自己理解のための必要な資料をまとめる。 自分の選択した進路先を調べる	話し合い活動
11	進路の情報と活用 異性との交際 生徒会活動の改善	自分の進路や生活に役立つ情報を適切に選択する 男女の健全な交際の心構えと望ましい態度を持つ 生徒会の活動について話し合い、意義を再確認する	調査活動 話し合い活動
12	進学、就職の準備 2学期の反省 冬休みの過ごし方	進学、就職に必要な準備をする 2学期を振り返り、今後の生活を考える 冬休みの意義と、充実した冬休みの過ごし方について考える	話し合い活動
1	冬休みの反省 卒業までの学級計画 受験の心構え	冬休みを反省し、3学期の心構えをする 卒業までを見通した学級計画を立てる 高校・職場等の受験の心構えを理解する	発表活動 作業活動
2	性被害の防止 卒業までの生活 中学校生活のまとめ	性非行の実態を知り人間尊重の精神の大切さに築く 卒業までの学級生活を充実させる心構えを持つ 中学校生活をまとめ今後の希望実現のための意欲を持つ	話し合い活動
3	将来の心構え 素晴らしい卒業式	卒業後の進路先で生活する時の心構えを持つ 最大の行事である卒業式を見事に行う心構えを持つ	話し合い活動

令和6年度 総合的な学習の時間 全体計画

総合的な学習の時間の目標

探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

行田市立西中学校 学校教育目標

- ・自ら考え創造する生徒
- ・誠実で思いやりのある生徒
- ・心身ともに健康な生徒

今年度の重点

探求的な学習に主体的・協働的に取り組むことができるようにする。

行田市立西中学校 総合的な学習の時間 目標

探求的な見方・考え方を働かせ、「地域の歴史・伝統・文化」に関わる横断的・総合的な学習を行うことを通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

- (1) 「地域の歴史・伝統・文化」に関わる探求的な学習の過程において、情報を取捨・選択したり整理したりするなどして、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けることができるようにする。
- (2) 「地域の歴史・伝統・文化」の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、根拠を明らかにしながらまとめ・表現することができるようにする。
- (3) 「地域の歴史・伝統・文化」に関わる探求的な学習に主体的・協働的に取り組むことができるようにする。

地域の実態
学校の実態
生徒の実態
保護者の願い
地域の願い
教職員の願い

行田市立西中学校が設定する内容

	目標を実現するにふさわしい探求課題	探求課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性等
第1学年	環境の保全と持続可能な社会	持続可能な社会を目指して地域の自然の存在とそのよさについて、情報を取捨・選択したり整理したりすることができる。	現代社会の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、その魅力についてまとめ・表現することができる。	探求課題に主体的・協働的に取り組もうとする。
第2学年	町づくりや地域活性化のために取り組んでいる人々や組織	地域活性化のために取り組んでいる人たちの工夫や努力について、情報を取捨・選択したり整理したりするなどして、知ることができる。	地域活性化について問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめることができる。	探求課題に主体的・協働的に取り組み、学んだことをまとめて表現しようとする。
第3学年	進路選択に向けた自己実現	体験活動を通して、他者と協働したり自分自身の意見を発信したりしながら、自己実現に向けて決断することができる。	自己の将来について考え、問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめることができる。	探求課題に主体的・協働的に取り組み、学んだことを活かして自分の進路を実現しようとする。

学習活動	・オリエンテーション（探求的な学習とは） ・博物館等との連携 (行田市郷土博物館、足袋とくらしの博物館、さきたま史跡の博物館)
指導方法	・個に応じた指導 ・ICT機器の活用 ・協働的な学習活動の充実
指導体制	・企画委員会における校内の連絡調整と支援体制の確立 ・博物館等との連携
学習の評価等	・観点別評価規準の設定

各教科等との関連

- ・社会科
(「古墳時代」におけるさきたま古墳群と「江戸時代」における忍藩の活躍についての学習)
- ・英語科 (行田の観光案内をしよう)
- ・技術科 (Web制作をしよう)

道徳教育等との関連

- ・総合的な学習の時間で扱った課題を道徳の主題として設定し、自己の生き方を考える授業を展開する。

令和6年度 総合的な学習の時間 年間指導計画 第1学年

月	単元	学習内容	指導 時数
4	総合学習に関する オリエンテーション	総合的な学習の時間 1年間のガイダンス	1 1
5	行事を成功させよう	体育大会の取り組み	4
6	将来について考えよう 自然の豊かさを知ろう	自分の将来について考える 働くことの意味や意義について 校外学習について	1 1 2
7	自然の豊かさを知ろう	学習場所の自然について 校外学習に向けての準備	2 1
9	自然の豊かさに触れよう	校外学習に向けての準備 校外学習のまとめ	3 1
10	行事を成功させよう 進路学習基礎学習	合唱コンクールの取り組み 上級学校を知ろう	2 2
11	他地域の自然・文化を知ろう	スキー学校オリエンテーション 長野県の自然・文化について スキー学校に向けた取組	2 4 4
12	他地域と行田を比較しよう	長野県と埼玉県(行田市)の自然・文化について スキー学校に向けた取組	2 2
1	他地域の自然・文化に触れよう	スキー学校に向けた取組 スキー学校のまとめ	6 2
2	卒業期の取り組み	飾りつけの作成	6
3	卒業期の取り組み	壁画作成 1年間のまとめ	2 2
合計授業時数			53

令和6年度 総合的な学習の時間 年間指導計画 第2学年

月	単元	学習内容	指導
4	総合学習に関する オリエンテーション	総合的な学習1年間のガイダンス	2
5	行事を成功させよう	体育大会に向けての取組	4
6	職場体験学習基礎学習	「働くことの大切さについて考えよう」	2
7	校外学習向け	東京班別学習 役割決め討議	6
9	職場体験学習基礎学習 校外学習向け	「様々な職業について調べよう」 東京班別学習	2 2
10	行事を成功させよう	校内音楽会に向けての取組	4
	職場体験学習基礎学習	敬語の使い方、礼儀について	2
11	職場体験学習	オリエンテーション 事前打ち合わせ	8 8
12	職場体験学習	職場体験、スライドづくり	8
1	進路について	上級学校調べ 進路学習	4 4
2	三送会に向けて 修学旅行に向けて	学級討議、発表準備 事前学習(京都・奈良を知る)	8 8
3	三送会 修学旅行に向けて	学級学年討議	2 4
		合計授業時数	78

令和6年度 総合的な学習の時間 年間指導計画 第3学年

月	単元	学習内容	指導
4	古都の文化を探究しよう	総合学習のガイダンス	1
		修学旅行事前学習	4
		修学旅行班編成・計画づくり(班別行動計画)	2
5	古都の文化を探究しよう	修学旅行集会・事前指導 事後指導	5 1
6	学校行事を成功させよう	体育大会に向けての取組	6
7	夢の実現を目指して	進路学習(集会)	3
		学力補充・実力テスト	3
9	学校行事を盛り上げよう	校内音楽会に向けての取組	7
10	学校行事を盛り上げよう 夢の実現を目指して	校内音楽会に向けての取組	4
		進路学習(ガイダンス)	1
		自己PR作成、志望理由書作成	3
11	夢の実現を目指して	進路学習(面接練習等)	5
		学力補充	2
12	夢の実現を目指して	卒業論文ガイダンス	2
		進路学習(面接練習等)	3
		学力補充	3
1	夢の実現を目指して	卒業論文	4
		進路学習(面接練習・集会等)	2
		学力補充	2
2	夢の実現を目指して	卒業論文	4